会長のページ　研修医・医師確保について …… 河野　雅行　3
日州医談　宮崎県における労災保険の現状 …… 川野啓一郎　4
随　　筆　「蜜蜂と遠雷」～「ショパン国際ピアノコンクール」…… 菅沼　龍夫　6
　　再度，北海道へ孫と旅する …… 田島　直也　8
エコー・リレー(506) …… 牧原　真治，星子　新理　9
メディアの目　あの日あの頃　テレビ時代の昭和がおもしろい … 坂元　秀光　15
宮崎大学医学部だより(宮崎大学医学部附属病院
　　患者支援センター(旧地域医療連携センター)) …… 鈴木　斎王　18
専門分科医会だより(泌尿器科医会) …… 中山　　健　19
宮崎県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿(医科) …… 39
ニューメンバー …… 赤須　晃治，能勢　直弘　50
診療メモ　人工聴覚器医療の現況と
　　宮崎大学医学部附属病院難聴支援センターの役割 …… 東野　哲也　78

表彰・祝賀 …… 10
宮崎県感染症発生動向 …… 12
あなたできますか？(平成28年度医師国家試験問題より) …… 14
各郡市医師会だより …… 16
第18回宮崎県医師会医家芸術展 …… 21
各種委員会(勤務医委員会，健康教育委員会，医学会誌編集委員会) …… 22
地域医療構想調整会議の進め方に関する協議会 …… 25
九州医師会連合会第366回常任委員会 …… 26
第113回九州医師会連合会定例委員総会 …… 27
平成29年度九州学校検診協議会幹事会 …… 28
九州各県医師会学校保健担当理事者会(日本医師会学校保健担当理事との懇談会) …… 29
平成29年度九州学校検診協議会第１回専門委員会 …… 32
生活習慣病(糖尿病・COPD等)担当理事連絡協議会 …… 36
日医インターネットニュースから …… 40
医師国保組合だより …… 42
理 事 会 日 誌 …… 44
県 医 の 動 き …… 48
会員の異動・変更報告 …… 49
ベストセラー …… 52
ドクターバンク情報 …… 53
行　事　予　定 …… 59
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 …… 61
宮大医学部学生のページ …… 80
あ　と　が　き …… 84

お知らせ　「新春随想」原稿募集 …… 20
　　クールビズについて …… 31
　　宮崎県医師会メーリングリストのご案内 …… 35
　　宮崎県医療勤務環境改善支援センター …… 51
　　宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ …… 52
　　日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています …… 57
　　第１回専門医共通講習会　医療倫理・感染対策 …… 77
　　医師資格証を持ちましょう …… 81
　　郡市医師会への送付文書 …… 82

医師の心得

1．私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。

2．私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。

3．私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。

4．私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。

5．私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人　宮崎県医師会

（平成14年３月12日制定）

〔表紙作品：写真〕

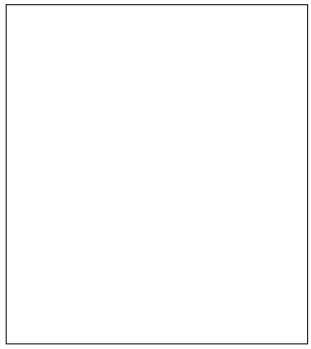
晩秋

秋の夕暮の情景は昔から多くの詩歌にうたわれて親しまれてきた。草むらの虫や秋冷を感じはじめた人々が暗闇の漂うなか夜長をむかえるのもこの頃である。　宮崎市　楠元正輝（くすもとただてる）

会長のページ

研修医・医師確保について

河野雅行（かわの まさゆき）



このテーマは重要な問題であり何度でも取り上げます。

ここ数年の宮崎県における研修医は増加傾向にあります。レジナビフェア（全国規模の病院合同説明会）出展や招致運動を展開した結果であると思われます。しかし，人口当たりの研修医残留率は全国でもまだまだ低い方です。県内医師の年齢分布は20代・30代が少なく平均年齢は50代で，10年後には更に高齢化して宮崎の医療は厳しくなる恐れがあります。研修医数増加と言っても60名弱であり満足できるものではありません。県内医師不足を打破するには毎年80名以上の新医師確保が必要です。宮崎大学と他大学まで含めると，毎年，宮崎県出身者が約100名医学部に入学していますので，80名は決して荒唐無稽な数字ではありません。研修医が大都市に集中する傾向は今でも同じですが，地方でも様々な手段を講じて多数の研修医を確保している県もあります。宮崎県でも奨学金制度を設けたり，県の魅力（観光，サーフィン，食，スポーツランド，歴史等）を発信したりと努力をしています。高校生，場合によっては中学生時代から将来，宮崎県の医療に携わる医師を涵養するのも良いかもしれません。既にオープンキャンパスや出張講座等を実施している地域もあります。

医学生へのアプローチも行っています。例えば，２年前から宮崎大学医学部の５年生を対象とした懇談会を開催しています。大学の各診療科，研修病院，医師会，県の関係者が一堂に会して学生に対する様々な助言や懇談を行います。９割近い５年生が参加して大変好評です。卒後臨床研修センター小松教授の講演，河野知事，池ノ上学長の講話があり，県医師会からも激励の挨拶をしました。大学先輩の荒木常任理事，糸数理事も宮崎県の女性医師支援の取組みを紹介しエールを送りました。最近は医学生の約４割が女性であり，大いに参考になったようです。

地方に医師を増やすには単に医学部の定員を増やせば解決する問題ではありません。医師不足が問題視され始めた当時から医学部定員は大幅に増えたにもかかわらず，解消されていません。その点からすれば，成績のみによる入試制度も一考を要するのではないでしょうか。地域枠以外に診療科枠を設けるなど，早期から不足した科の医師確保を目指すべきかもしれません。また，来年からの専門医制度により，今迄努力し獲得した研修医数が再度減少するのではないかとの懸念も払拭できません。いずれにしても思い切った施策を講じないと，医療崩壊から社会そのものが崩壊してしまうことになりかねません。様々な意見はあっても地域医療に関しては皆が同じ方向を向く必要があります。（平成29年９月26日）

日州医談

宮崎県における労災保険の現状

理事　川野（かわの）　啓一郎（けいいちろう）

1 労働災害の発生状況について

⑴新規受給者数について（表１）

宮崎県の労災の新規受給者数は，昭和41年度の14,316人をピークとして年々減少の傾向にあり，平成27年度には5,715人とおおよそ60％減少しています。また，労災給付額も平成25年度78億１千万円から，平成27年度77億5千万円に減少しています。（労働者災害補償保険事業年報：平成28年10月・第13表）

⑵死傷災害発生，死亡災害発生状況について（表２・３）

昨年の県内の労働災害状況については，休業４日以上の死傷者数が1,332人と，平成23年以来４年ぶりに1,300人を超え，また，死亡者数も15人で，前年を１人上回りました。さらに，今年に入り２月11日までの１か月余りの間に昨年の半数に相当する７人の方が亡くなられており，こうした極めて憂慮すべき現状を受け，３月22日宮崎労働局として初めて「死亡労働災害多発警報」が発令されましたが，死亡労働災害に歯止めがかかっていない状況です。

⑶脳・心臓疾患，精神障害に関する労災請求について

宮崎県における，脳・心臓疾患に係る労災請求は平成25年度から昨年まで年々増加しておりましたが，28年度は６件と減少に転じています。精神障害に係る労災請求についても，平成25年度から増加していましたが，28年度は13件と前年から５件減少となっています。

⑷石綿関連疾患の労災請求について

宮崎県における石綿関連疾患に係る請求件数は平成25年度６件，平成26年度５件，平成27年度３件，平成28年度３件と減少傾向にあります。

2 労災診療費審査の現状

⑴労災保険とは

労災保険は労働者の保護を図るため業務上の事由による負傷・疾病・傷害・死亡に対し労働者災害補償制度として誕生したものです。

労災の認定については「業務遂行性」と「業務起因性」の２つの概念に基づき判定がなされます。

労災診療費は「労災診療費算定基準」に基づいて行われていますが，この基準は厚生労働省と日本医師会との協議により社会的妥当性の枠で決められているものです。

労災診療費の特徴としては，労災診療単価が１点12円ということと，被災労働者の１日でも早い社会復帰促進を図ることを目的とした種々の労災特掲が認められていることです。

このことが社会保険診療報酬費との大きな相違点です。

⑵平成28年度労災診療費審査結果（表４）

平成28年度年間の内訳書枚数が41,168件で，そのうち審査会で検討されたものが1,317件，要査定となったものが453件でした。

⑶労災保険認定の問題点

①業務上の事由による負傷について

「業務遂行性」：業務遂行中の負傷であること

「業務起因性」：業務と負傷との間に相当の因果関係があること

この二つの条件が満たされる必要があります。

②業務上の事由による疾病について

長時間に渡り業務に伴う有害作用が蓄積して発病に至る疾病（例：じん肺）があります。この場合は災害性疾病とは異なり

一般的には，その発病の原因となる有害作用等の加わった時点が明確でないこと等から当該疾病を発生させるに足る作業内容，作業環境条件等が認められるならば業務上として取扱うことになっています。

特定の疾病を業務上の疾病として規定しています。（労基則，別表１の２）

認定に際し上記に適応した状態であるかどうか十分検討されていないケースが時に見受けられます。また，少子高齢化に伴い年齢の高い労働者が増加傾向にあり，高齢者特有の疾患が認定要件に影響する場合があり，今後，幅広い議論が必要となってきます。

３労災診療指導委員会からのお願い

⑴傷病名の記載について

一般の社会保険の審査においては，使用した薬剤，処置，画像診断等に対しての傷病名がないと，いわゆるＡ査定となってしまいます。しかし，労災保険においては業務と負傷との間に相当の因果関係があることが必要ですので，関連性のない傷病名を記載すると混乱を招きます。

例えばHbA1cを測定したからと言って糖尿病」という傷病名を出すと，場合によっては私病と判断され，査定されることもあります。傷病名を出さずにコメントで労災としての関連性，その必要性を書いていただくとよろしいかと思います。

⑵手術の請求について

手術に使用している器材から請求されている術式に疑義が生じる場合があります。手術内容の詳記，術前後のＸ－Ｐ，及び図示等，添付していただけると再調査の手間が省けてよろしいかと思います。

また，傷病名と手術術式の不一致がないようにお願いいたします。

⑶リハビリのリセットについて

労災は基本的に同一傷病名の継続ですので，リセットは通常はむずかしいと思われます。

⑷眼科部門から

屈折異常の傷病名は労災審査上は私病と見做される場合もありますので，いわゆる「レセプト病名」にご留意ください。

宮崎労働局及び宮崎県医師会労災部会労災診療指導委員会の先生方にご協力をいただきました。特に永吉洋次先生には多大にご指導をいただきました。深謝申し上げます。

表１　労働災害の発生状況について（新規受給者数（人））

業　種	平成27年	平成28年
全　産　業	5,715	6,059
林　業	158	176
漁　業	19	15
鉱　業	7	3
建　設　事　業	491	580
製　造　業	1,307	1,380
運　輸　業	282	286
電気，ガス，水道等	7	10
そ の 他 の 事 業	3,385	3,549
船舶所有者の事業	59	60

表２　死亡災害発生状況について

業　種	平成27年	平成28年
	死亡者数（人）	死亡者数（人）
全　産　業	14	15
製　造　業	1	2
建　設　業	5	5
運　輸　交　通　業	2	2
林　業	3	3
商　業	1	1
保　健　衛　生　業	0	1
そ　の　他	2	1
平成28年の労働災害による死亡者数は平成27年に比べて１人（7.1％）増と増加		

表３　死傷災害発生状況について

業　種	平成27年	平成28年
	死傷者数（人）	死傷者数（人）
全　産　業	1,285	1,332
製　造　業	286	303
建　設　業	148	189
運　輸　交　通　業	145	137
林　業	99	71
商　業	179	177
保　健　衛　生　業	111	139
そ　の　他	317	316
平成28年の労働災害による死傷者数（死亡・休業４日以上）は平成27年に比べて47人（3.6％）増と増加		

表４　平成28年度労災診療費審査結果

区分／月別	内訳書枚数	付託件数	要査定	要調査	要指摘	要照会
４月	3,259	96	38	0	0	14
５月	3,011	127	37	0	0	13
６月	4,320	143	41	6	1	17
７月	3,056	93	22	0	0	9
８月	3,716	104	38	0	0	16
９月	3,839	106	36	2	0	10
10月	3,401	82	32	0	0	2
11月	3,317	115	34	1	0	5
12月	3,160	116	54	0	0	9
１月	3,073	95	34	1	0	13
２月	3,798	116	38	0	0	5
３月	3,218	124	49	6	0	4
合計	41,168	1,317	453	16	1	117

随　筆

「蜜蜂と遠雷」
～「ショパン国際ピアノコンクール」

宮崎市　野崎病院　菅沼（すがぬま）龍夫（たつお）

どちらかといえば読書好きの方であるが，昨今の○○文学賞，○○大賞受賞と銘打った本を率先して買うのには何となく抵抗を覚えていたが，直木賞と本屋大賞ダブル受賞！という宣伝文句につい乗せられて「蜜蜂と遠雷」恩田陸著を購入して通読した。若手ピアニスト達の登竜門とされる「芳ヶ江国際ピアノコンクール」を舞台に４人の天才ピアニストと彼らが奏でる楽曲とが織りなす人間ドラマで，楽しく読むことができた。

浜松国際ピアノコンクールがモデルとなっているとのことであったが，小説を構成するキーポイントの一つひとつから私には2015年秋，宮崎大学を退職後に家内と聴きに行ったショパン国際ピアノコンクールを思い出させた。

ショパン国際ピアノコンクールはポーランドの国を挙げての一大イベントで，ワルシャワはフレデリック・ショパン国際空港にはじまり，国立フレデリック・ショパン音楽大学，ショパンの心臓が埋葬されている聖十字架教会，フレデリック・ショパン博物館などなど，また街中のそこかしこに置かれたベンチからはショパンのピアノ曲が流れ，ショパンにまつわる史跡に溢れ，訪れたファンを魅了している。５年ごとに開催され，エントリー資格は15歳から30歳未満という年齢制限が設けられている。書類，DVDで選ばれたコンテスタント160人が半年前，４月の予備選考に臨み，選ばれた80人ほどが10月の本選考となる第一次選考に臨む。二次選考には40人が，三次選考には20人が，そして最後の最終選考にファイナリスト10人が選ばれる。本選考はほぼ１か月近くとなる長丁場である。

これまでに，先日亡くなられた中村紘子さん（1965年，第４位）（宮崎県立芸術劇場アイザックスターンホールでの公演でアンコールに応えて５回も演奏してくれた姿が今も鮮明である），内田光子さん（1970年，第２位）をはじめ多くの日本人コンテスタントが入賞している。今回は入賞には至らなかったが，日本人では小林愛実さんがファイナリストに残った。

演奏会場は歴史の重みが感じられる有名な国立ワルシャワフィルハーモニーで，練習会場とされているショパン音楽大学ではグランドピアノを備えた多数の練習用個室がどこまでも続く長い廊下を歩いているとピアノの音色が漏れ聞こえ，幾ばくかの緊張感を感じ取ることができた。ちなみに今回のコンクールの公式ピアノとしてスタインウェイ，ファツィオリとともにヤマハとカワイが採用されていた。ピアノメーカーと調律師たちのしのぎを削る戦いはNHK BSで「もう一つのショパン国際ピアノコンクール～調律師たちの戦い」として放映された（2015年12月）。最終選考ではワルシャワフィルとの共演でショパンピアノ協奏曲第一番か第二番を選択することになっており，９名が第一番を１名が第二番を演奏した。演奏者によって，ピアノが醸し出す音色・音楽がこれほど違うものであることを初めて体験することができ，大きな収穫であった。歴史的なホールのためか，残念ながら，オーケストラのパートの音がこもってしまう傾向が強く，宮崎県立芸術劇場ア

イザックスターンホールであればと…思った次第である。選考結果発表も小説に描かれている通りで，１階ホールにつながる大理石の階段に２階から降りてきた審査員らが勢ぞろいする中で，おもむろに発表される。今回の最終選考は評価が沸騰した様子で，発表は午前０時を過ぎていた。この発表の様子は現在でもYouTubeで見ることができる。素人の独断と偏見から唯一人，第二番を演奏したシャルル・リシャール・アムラン(ヤマハ)(カナダ)が優勝ではないかと予測したが，惜しくも第２位であった。優勝者のチョ・ソンジン(スタインウェイ)(韓国)と甲乙つけ難い評価であったとの評論を後で読んだ。HPに公開された評価結果から，多くの審査員がこの２人には高い点数をつけていた(10点満点)。どのように評価がされているのか知る由もないが，審査員の感性による評価であるから，時々波乱が生じることもある。1980年のショパンコンクールではそれまで全く無名であったダン・タイ・ソン(ベトナム)がアジア初の優勝者となり話題を巻き起こした。この時は途中の選考過程での審査結果に抗議して，帰国してしまった著名な某審査員もいたようである。

最終日は表彰式と入賞者によるエキジビション演奏が行われた。６位入賞のロシアのコンテスタントは欠席。審査結果に不満？との噂も流れていた。表彰式にはポーランドのアンジェイ・ドゥダ大統領が出席し，自ら優勝者を表彰し，賑々しく執り行われた。長い，長い祝辞が２時間余りも続くのには閉口した。お国柄とは言え，思わずため息が出てしまった。大統領が出席するにも拘わらず，SPと思われる人物もさほど目立つことなく，持ち物検査も型どおりで，ISによるテロがヨーロッパで続発していただけに，少し不安を覚えた。

帰国後に，ショパン国際ピアノコンクールを舞台とした小説「いつまでもショパン」(中山七里著)を読んだ。こちらは2010年，時のポーランド大統領レフ・カチンスキ夫妻が搭乗していた政府専用機のロシア西方での墜落事故(ファクト)から始まるサスペンスで，テロに乗じて，コンクールの表彰式に出席した大統領の命が狙われ，天才日本人コンテスタントがこれを阻止するというストーリーである。フィクションとはいえ，いささか背筋が寒くなった。

ワルシャワ滞在中，ポーランドの古都，クラクフを訪問した際に，レフ・カチンスキ大統領夫妻が埋葬されているヴァヴェル城大聖堂の地下室(歴代国王の墓所でもある)を案内してもらった。夫妻の石棺の前でガイドさんは，これは事故ではなく，某国による陰謀を示唆する幾つかの根拠が取り沙汰されていると真面目に話してくれた。歴史に翻弄され，国を失った人々の想いの重みを認識させられた旅でもあった。

会場のワルシャワフィルハーモニー・ホール。２階席が左右からせり出している。

表彰式を待つファイナリストたち。
前列左が優勝者。後列中央に小林愛実さん。

随　筆

再度，北海道へ孫と旅する

宮崎市　野崎東病院　田島直也（たじまなおや）

２年前に当時小学３年と１年の孫娘とそれぞれ２回，知床と旭川・富良野・小樽に旅行した。

その後，２人とも北海道に興味を持ち，また行きたいと言っていたが，私自身の年齢を考えると，今後一緒に旅行する機会はあまりないかもしれないと考え，８月28～31日の３泊４日の強行軍で子ども２人と私の３人で再度，北海道に行くことにした。

上の子(小学５年)は知床の野生のクマを，下の子(小学３年)は旭山動物園を全部ゆっくり廻ることを希望したので，何と２回同じ処に行くことになった。

８月28日，女満別空港から先ず流氷館に寄った。ここは前回の時はなかったが，今年２月の流氷が展示され，ここでは濡れたタオルが棒状に固まり，－15℃を体験することができた。

29日は朝６：00，警報と臨時ニュースで起こされ，北朝鮮のミサイル発射(太平洋に落下)があった。同日はいよいよ知床観光船で海上からのヒグマウォッチングに出かけた。

前回はバスで知床巡りだったので，今回で陸上・海上の両方からの知床巡りになった。出発時は風雨がかなりあり，途中引き返す可能性もあるとのアナウンスがされる状態であった。幸い，出港後天候も回復し，垂直な巌壁，ゴジラ岩を間近に見て，ついにクマの親子等数匹を発見した。クマは海に入り魚を採っているのを遠くから見ることができた。子どもたちも非常に喜んでくれた。その日は強行軍(網走からJR特急で４時間，知床からは計６時間)で旭川についた。旭川では名物のジンギスカンで羊肉を堪能でき，私も大満足であった。

翌30日は旭山動物園見学予定にしていた。前回は多数の観光客で混雑していたので，開園前につくように行き，２番目に入園できた。

しかし今回は北海道の学校は既に始まっていたことや平日でもあり，思ったより人は少なかった。ゆっくりと，あざらし，猛獣，かば，北極熊等全部廻ることができた。またその日は日ハムとソフトバンクの試合がスタルヒン球場であり，私達のホテルは日ハム宿泊と同じであり，多くのファンがホテルロビー，道路迄いっぱいであった。分かっていたら野球観戦に行けたのに残念であった。

知床は2005年に世界遺産に登録され，自然のままで多くの動植物が生息している環境でヒトを癒してくれるところではないかと思う。しかし一方では，海の向こうは北方四島が存在し，多くの問題が残っているのが現実である。

知床，旭川以外にも，北海道は土地は広大で多くの湖も存在し，機会があればまたぜひ訪れてみたいものである。

今回の旅は４日間であったが，孫との貴重な想い出深い旅であった。

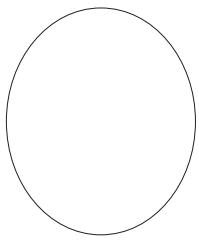
エコー・リレー

（506回）

（南から北へ北から南へ）

糖質制限を始めよう

宮崎市　宮崎善仁会病院　牧原真治（まきはらしんじ）



有史以来，肥満に悩む人は多く，いろんなダイエット法が考案されては廃れてきました。自分自身もそんなに太ったわけでもなかったのですが，40歳ころに肝機能が悪化したり高血圧になったりしました。その年齢で生活習慣病になってしまうなんて，医者たるものが自己管理が出来なければと思い，片道12㎞の自転車通勤を始め，約10kg体重を落とし，肝機能も高血圧も全て解消しました。

しかしながら，肥満に悩んでいる人にアドバイスする場合，自分がやってきたように「毎日自転車で10㎞走行」してくださいというと，「無理無理」と言われてしまいます。やっぱり体重コントロールは食事療法が一番有効です。

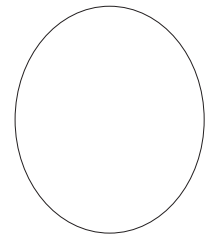
私の糖質制限との出会いは，ロングライドに糖質制限が効果的だという話を聞いたことがきっかけでした。糖質制限を始めると，ダッシュ力は低下しますが，持続力は付いたような印象でした。

糖質制限食は，一般には１日糖質120ｇに抑えられれば，お腹いっぱい食べてもよいことになっています。糖質制限は，空腹感を我慢しなくて良いので，長く続けられます。糖質は血糖を上げる主な栄養源ですので，食事後のグルコーススパイクもみられなくなり，糖尿病の食事療法にも有効です。糖尿病の専門医の方に糖質制限食反対派が多いのが不思議ですが，体重が気になるあなた，一度試してみませんか？

［次回は，宮崎市の松浦 宏司先生にお願いします］

実体顕微鏡のススメ？

国富町　田中外科医院　星子新理（ほしこしんり）



この夏，３歳の息子に双眼の実体顕微鏡を購入しました。２万円程度の出費で，プレパラートにすることなく実物を30倍で見ることができます。大した倍率ではありませんが，何よりも，双眼で立体的に見える世界がただ単に楽しいのです。

思えば大学院時代，内視鏡治療で切除した胃や大腸の組織を病理学教室の立派な実体顕微鏡で解析するのが楽しみのひとつでした。適切な染色できれいに染まった検体が準備できると，被写界深度の深いZEISS製の高級レンズが，その微細な凹凸を立体感豊かに，とても美しく見せてくれます。内視鏡では気づけなかったものが見えた時の感動は，さらなる研鑽のきっかけとなりました。

最近，後輩に実体顕微鏡を覗かせる機会があり，その時の嬉しい反応をみて，改めて立体視の感動を思い出しました。そして気がつけばAmazonで注文していたのです。

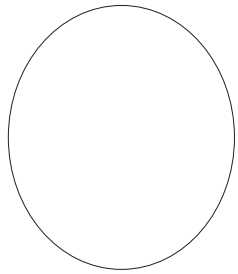
話を戻しますと，顕微鏡はすでに私以外誰も覗いていません。幸い，虫や植物（もれなく土やいろいろな付着物も一緒に），歯ブラシ，ミニカー，機関車トーマス…などの貴重なサンプルを，せっせと運んでくれる有能な助手ができました。期待をよそに，まだまだ裸眼で精いっぱい見て，触って，騒ぎまくっています。これはこれで良とし，最近ではサンプルに手が届かない天体望遠鏡を，と目論む今日この頃です。

［次回は，延岡市の赤須 玄先生にお願いします］

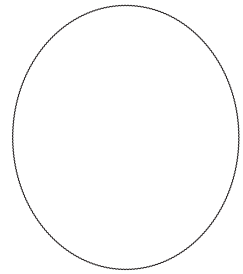
表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

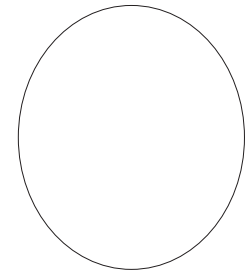
杉田幸雄　先生（宮　崎）
藤木浩　先生（宮　崎）
山脇忍　先生（宮　崎）
濵田義臣　先生（都　城）
村上健志　先生（都　城）
赤須巖　先生（延　岡）
岡村博道　先生（延　岡）
富田精一郎　先生（延　岡）



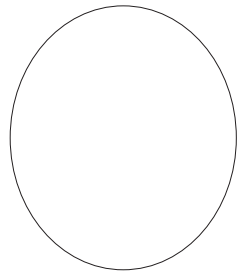
杉田　先生



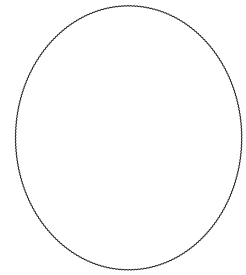
藤木　先生



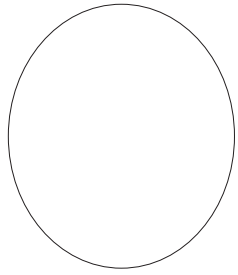
山脇　先生



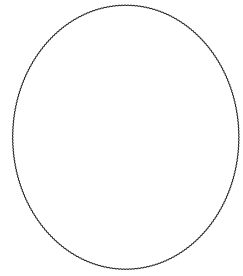
濵田　先生



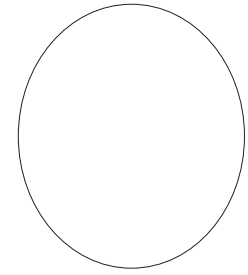
村上　先生



赤須　先生



岡村　先生

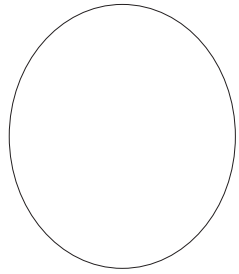


富田　先生

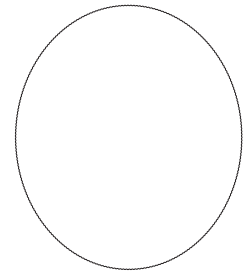
表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

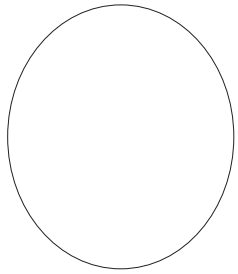
渡邊（わたなべ）　康久（やすひさ）　先生（日　向）
津曲（つまがり）　俊郎（としろう）　先生（南那珂）
志戸本（しともと）　宗徳（むねのり）　先生（西　諸）
長井（ながい）　章（しょう）　先生（西　諸）
堀（ほり）　英晴（ひではる）　先生（西　諸）



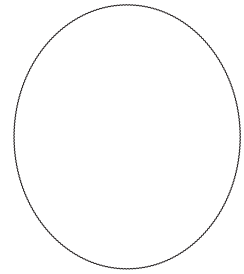
渡邊 先生



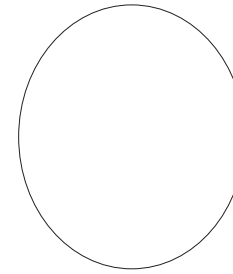
津曲 先生



志戸本 先生



長井 先生



堀 先生

平成29年８月21日，学校保健関係功労により県教育長表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

宮崎県感染症発生動向 ～８月～

平成29年７月31日～平成29年９月３日（第31週～第35週）

■全数報告の感染症

１類：報告なし。

２類：○結核16例（男性10例・女性６例）：保健所別報告数を【図１】に示した。病型別報告数を【表１】に示した。年齢別報告数を【表２】に示した。

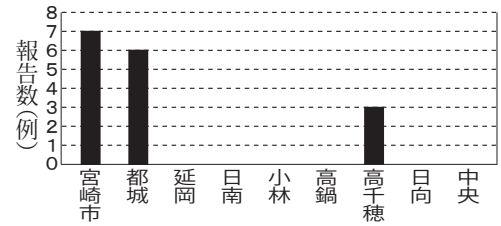


図１　結核　保健所別報告数

表１　結核　病型別報告数（例）

肺結核	7
肺結核及びその他の結核（粟粒結核）	1
その他の結核（結核性胸膜炎，気管支結核）	5
無症状病原体保有者	3

表２　結核　年齢別報告数（例）

年齢	報告数（人）
40歳代	1
50歳代	3
60歳代	1
70歳代	3
80歳代	6
90歳代	2

３類：○腸管出血性大腸菌感染症４例：都城（２例），宮崎市，高鍋（各１例）保健所管内から報告があった。
・０～４歳で，主な症状として血便がみられ，原因菌のＯ血清型はO157（VT1，2産生）である。
・０～４歳で，主な症状として腹痛，血便がみられ，原因菌のＯ血清型はO111（VT1，2産生）である。
・20歳代で，無症状病原体保有者であり，原因菌のＯ血清型はO103（VT1産生）である。
・50歳代で，主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられ，原因菌のＯ血清型はO121（VT2産生）である。

４類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）４例：宮崎市（２例），延岡，高鍋（各１例）保健所管内から報告があった。いずれも70歳代で，主な症状として発熱，下痢，全身倦怠感，血小板・白血球減少等がみられた。また，いずれも海外渡航歴はなく，ダニの刺し口は確認できなかったが，１例で衣服にダニの付着があった。
○レジオネラ症５例：宮崎市，延岡（各２例），小林（１例）保健所管内から報告があり，病型はいずれも肺炎型であった。
・50歳代で，主な症状として発熱，意識障害，多臓器不全がみられた。
・60歳代で，主な症状として発熱，腹痛，下痢，肺炎がみられた。
・60歳代で，主な症状として発熱，腹痛，咳嗽，肺炎がみられた。
・70歳代で，主な症状として発熱，呼吸困難，肺炎がみられた。
・90歳代で，主な症状として発熱，肺炎がみられた。
○レプトスピラ症１例：都城保健所管内で報告があった。60歳代で，主な症状として発熱，黄疸，腎不全がみられた。

５類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，主な症状として胆管炎がみられ，原因菌は*Enterobacter aerogenes*である。
○急性脳炎１例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で病原体は単純ヘルペスウイルスで，主な症状として発熱，頭痛，項部硬直，痙攣，意識障害がみられた。

■５類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,291人（定点あたり131.4）で，前月の98％とほぼ横ばいであったが，例年の117％

前月との比較

	2017年８月		2017年７月		例年との比較
	報告数（人）	定点当たり（人）	報告数（人）	定点当たり（人）	
インフルエンザ	15	0.3	20	0.3	
RSウイルス感染症	471	13.1	52	1.4	★
咽頭結膜熱	160	4.4	115	3.2	★
※溶レン菌咽頭炎	238	6.6	311	8.6	
感染性胃腸炎	1,315	36.5	1,084	30.1	★
水痘	96	2.7	76	2.1	
手足口病	841	23.4	1,910	53.1	
伝染性紅斑	6	0.2	18	0.5	
突発性発しん	141	3.9	157	4.4	
百日咳	4	0.1	1	0.0	
ヘルパンギーナ	860	23.9	725	20.1	★
流行性耳下腺炎	54	1.5	22	0.6	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	85	14.2	57	9.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	3	0.4	0	0.0	
クラミジア肺炎	1	0.1	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.0	0	0.0	

★　例年同時期（過去３年の平均）より報告数が多い
※　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

と増加した。　前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で，減少した主な疾患は手足口病とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症，感染性胃腸炎及びヘルパンギーナである。

RSウイルス感染症の報告数は471人(13.1)で前月の約9.1倍，例年の約2.4倍である。都城(18.7)，延岡(17.0)，宮崎市(16.7)保健所からの報告が多く，年齢別では６か月～１歳が全体の約７割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は1,315人(36.5)で前月の約1.2倍，例年の約1.3倍である。小林(65.7)，日南(60.3)，中央(49.0)保健所からの報告が多く，年齢別では６か月～３歳が全体の約６割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は860人(23.9)で前月の約1.2倍，例年の約2.0倍である。延岡(70.0)，中央(63.0)，日向(50.0)保健所からの報告が多く，年齢別では１～２歳が全体の約半数を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向
＜2017年８月＞

□性感染症

【宮崎県】　定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は25人(1.9)で，前月比68%と減少した。また，昨年８月(2.5)の約0.8倍である。

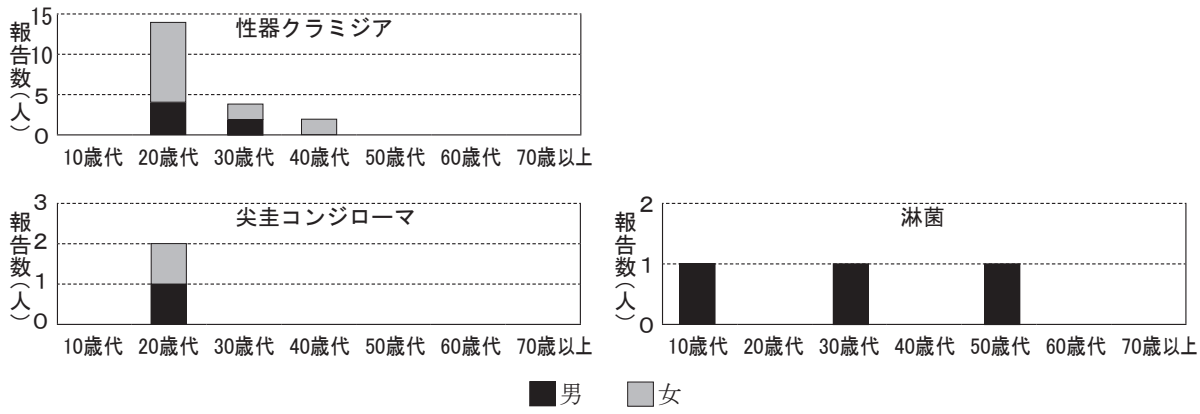
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で，前月の0.8倍，昨年８月とほぼ同率である。20歳代が全体の７割を占めた(男性６人，女性14人)。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告なし。

○尖圭コンジローマ：報告数２人(0.15)で，前月の0.4倍，昨年８月の2.0倍である(男性１人，女性１人)。

○淋菌感染症：報告数３人(0.23)で，前月の約0.8倍，昨年８月の約0.3倍である(男性３人)。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】　定点医療機関総数：７

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比100%と横ばいであった。また昨年８月(1.9)の約1.6倍である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人(3.0)で，前月の約1.1倍，昨年８月の約1.9倍である。70歳以上が全体の約６割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	ライノウイルス	2
	パラインフルエンザウイルス３型	1
	インフルエンザウイルスAH3	1
	インフルエンザウイルスB(山形系統)	1
	コクサッキーウイルスA6型	10
	コクサッキーウイルスA10型	1
	コクサッキーウイルスB1型	1
	アデノウイルス２型	2
	アデノウイルス６型	1
	単純ヘルペスウイルス１型	1
	ノロウイルスGⅡ	2
細菌	毒素原性大腸菌(ETEC)(OUT:H18)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(O55：HUT)	2
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(O157：HUT)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT：H27)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT：H40)	2
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT：HNM)	1
	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	2
	Salmonella Saintpaul (O4:e,h:1,2)	2
	Salmonella Sandiego(O4:e,h:n,z15)	1
	Salmonella Stanley (O4:d:1,2)	2
	Escherichia albertii	1
	Neisseria meningitidis (髄膜炎菌)	1
	Legionella pneumophila SG1	1

あなたできますか？

－平成28年度 医師国家試験問題より－

（解答は83ページ）

1　62歳の男性。全身倦怠感と下腿浮腫とを主訴に来院した。半年前から症状を自覚していた。自宅近くの医療機関を受診したところ，高血圧症と耐糖能異常とを指摘され，カルシウム拮抗薬と利尿薬とを処方された。しかし，血圧も症状も改善しなかったため，ホルモン異常を疑われて紹介されて受診した。身長174cm，体重81kg。血圧152/90mmHg。下腿には浮腫があり近位筋優位の筋力低下を認める。血液生化学所見：血糖184mg/dL，HbA1c6.5%（基準4.6～6.2），ACTH140.4pg/mL（基準60以下），コルチゾール39.8μg/dL（基準5.2～12.6）。

この患者について正しいのはどれか。

a　病変は頭蓋内と確定できる。
b　MRIで責任病巣が確定できる。
c　早期空腹時のホルモン測定を繰り返す。
d　尿中遊離コルチゾール定量で総分泌量を把握する。
e　CRH負荷に対してACTHが反応しないことが特徴である。

2　肝臓の構造について正しいのはどれか。

a　短肝静脈は中肝静脈に流入する。
b　小葉内では動脈と静脈が併走する。
c　Cantlie線から左側が外科的左葉である。
d　外側区域の静脈血は右肝静脈に流入する。
e　肝門部では門脈は胆管の腹側に位置する。

3　眼振とめまい疾患の組合せで正しいのはどれか。**2つ選べ**。

a　垂直眼振 ――― 小脳梗塞
b　注視眼振 ――― 起立性調節障害
c　水平眼振 ――― めまいを随伴する突発性難聴
d　純回旋眼振 ――― 動揺病
e　頭位変換眼振 ―― 前庭神経炎

4　65歳の男性。胸部エックス線写真で異常陰影を認める。胸部CTで左上葉の径5cmの腫瘤を認め，大動脈下リンパ節は径6cmに腫大している。気管支鏡検査で左上葉の腫瘤は肺小細胞癌と診断された。

みられる可能性が高い症候はどれか。

a　嗄　声
b　喘　鳴
c　縮　瞳
d　背部痛
e　顔面浮腫

5　高齢者で初発するてんかんの原因として最も頻度が高い変性疾患はどれか。

a　多系統萎縮症
b　前頭側頭型認知症
c　Lewy小体型認知症
d　Alzheimer型認知症
e　筋萎縮性側索硬化症（ALS）

6　放射線治療について正しいのはどれか。**3つ選べ**。

a　乳房温存術後には予防照射を行う。
b　陽子線はブラッグピークを形成する。
c　低酸素状態の癌は放射線感受性が高い。
d　I-131内用療法は前立腺癌に用いられる。
e　粒子線治療では主に陽子線が用いられる。

7　国際機関と事業内容の組合せで正しいのはどれか。

a　JICA　――― 専門家派遣による技術協力
b　UNESCO ――― 児童の福祉・健康改善
c　UNHCR ――― 二国間無償資金協力
d　UNICEF ――― 政府開発援助
e　WHO ――― 難民の帰還支援

8　栄養素とその欠乏によって起こる病態との組合せで正しいのはどれか。

a　マグネシウム　――― 味覚障害
b　ビタミンA ――― ペラグラ
c　ビタミンC ――― 出血傾向
d　カルシウム ――― 貧　血
e　亜　鉛 ――― 夜　盲

9　日齢5の新生児。在胎39週，出生体重2,840gで帝王切開で出生した。Apgarスコアは5点（1分），9点（5分）。本日，心雑音を認めたため，心エコー検査を行ったところ大動脈遠位弓部狭窄，心室中隔欠損および動脈管開存を認めた。

今後，この患児にみられる可能性が高い症候はどれか。

a　上肢のチアノーゼ
b　上下肢の血圧差
c　尿量の増加
d　stridor
e　脾　腫

10　経鼻胃管について正しいのはどれか。

a　意識障害患者への挿入は禁忌である。
b　挿入時は体位をTrendelenburg位にする。
c　心窩部で気泡音を聴取すれば適正位置と判断できる。
d　誤嚥性肺炎の急性期には経管経腸栄養は禁忌である。
e　経口摂取不可能時は静脈栄養より経管経腸栄養を優先する。

11　網状皮斑から疑うべきなのはどれか。

a　糖尿病
b　甲状腺機能低下症
c　結節性多発動脈炎
d　サルコイドーシス
e　全身性アミロイドーシス

メディアの目

あの日あの頃 テレビ時代の昭和がおもしろい

UMKテレビ宮崎　報道部長
坂元秀光（さかもとひでみつ）

30年前の昭和の時代のテレビニュースを振り返ると，実におもしろいです。

UMKテレビ宮崎は，1970年・昭和45年４月１日に開局しています。開局当時は，東京からの生放送やドラマ，映画，アニメなどフィルムを中心に放送していました。

ニュースも写真とフィルムを使ったものでした。ローカルニュース取材にVTRを導入したのは，1976年・昭和51年10月のことです。全国的に見れば，早い導入でした。そのニュースフィルムやVTRを活用して企画したのが，UMKスーパーニュースで放送しています「みやざきあの日あの頃」です。現在は，昭和最後の10年，1980年代を振り返っています。

1986年・昭和61年７月13日，フェニックス自然動物園の流れるプールで行われた“第１回水上歩行大会”は，制作番組企画ですが，“水面を忍者みたいに歩いてみたい”という漫画みたいな企画で，面白ニュースで話題になりました。

1980年・昭和55年８月14日のニュースには，“ろうそく祭り”というのがありました。えびの市の弘泉寺のお盆の珍しい伝統行事です。ろうそくが約2,000本並び，暗闇の中に長さ10メートルほどもある「人」という文字がくっきりと浮かび上がり，先祖の霊を迎える荘厳な雰囲気に包まれていました。この伝統行事は，文章よりも，映像を見れば，瞬時にニュース内容がわかります。映像の力はすごいと思います。

色んな宮崎の出来事を振り返る「あの日あの頃」は，まだまだ続きます。

その蔵出し作業中に見つけたのが，UMKテレビ宮崎が開局するずーっと前，1964年・昭和39年９月９日の記録フィルムです。この日，宮崎空港に東京オリンピック開会式会場の国立競技場に届ける聖火が到着。翌日の10日に平和台公園で出発式が行われ，東京に向けて聖火リレーがスタートしています。今度の東京オリンピック聖火リレーは，どこを走って東京に行くのでしょうか。楽しみです。

2017年の映像記録は，北朝鮮のミサイル映像ではなく，平和で楽しい映像であって欲しい。20年，30年後に，楽しい懐かしいビデオ資料で，後輩たちに“あの日あの頃　平成30年”で振り返って欲しいものです。

各郡市医師会だより

宮崎大学医学部医師会

今回，新たな専門医養成に関する話題を提供します。

いよいよ，2018年度から新しい専門医制度が開始します。今秋には研修プログラムへの応募も始まります。このような流れの中，大学附属病院は県内唯一の医育機関として，特定機能病院として，また研修に関する基幹施設としての役割を果たす責務があります。現在，専門医を目指す研修医が不利益を被らないよう，しっかりと準備し，必要な情報を発信しているところです。

本年の９月初旬には，宮崎県でも都道府県協議会を開催し，県内で実施される専門医養成の全プログラムを検証しました。そこには県内の主要研修病院の責任者，県医師会，宮崎県内の市町村，宮崎県，大学病院のそれぞれの代表者が出席し，「地域医療確保」の観点から，また，「オール宮崎」の観点から，しっかりとした評価が実施されました。具体的には，専門医を養成するために県内全域から70程の医療機関が協力する研修プログラムが準備されています。延数では，19の専門領域で200を超える病院数であり，本当に「オール宮崎」で専門医を養成するという，熱い意気込みが伝わるプログラムになっています。

今後，身近に専門医研修に取り組む若い医師が増えることが期待されます。教育マインドを持った指導者こそが，最善の職場環境です。「オール宮崎」で今後の宮崎県の医療を支える専門医を養成できるよう，医師会員の皆様の暖かいご支援をお願いいたします。　（鮫島　浩）

宮崎市郡医師会

８月25日㈮宮崎観光ホテルにおいて第６回宮崎市郡医師会救急告示医療機関連絡協議会が開催されました。この会は川名会長の肝いりで2012年に第１回が開催され，宮崎市の限られた医療資源である二次救急体制をより良い形で構築すべく始められました。今回は2025年問題に関連して，宮崎県福祉保健部医療薬務課の田中浩輔課長が「宮崎県地域医療構想について」という演題で講演され，その後病床機能評価，地域包括ケア病棟，在宅医療との連携のテーマで活発な討議が行われました。詳しくは新装なった宮崎市郡医師会のHPにある「新しい風＜公益社団法人　宮崎市郡医師会のBLOG＞」をぜひご覧ください。　（弘野　修一）

都城市北諸県郡医師会

当医師会の訪問看護ステーションも今年で21年目を迎えました。平成８年の開設時には３名でのスタートでしたが，現在パートを含め計10名になりました。平成29年４月１日に現在の都城市郡医師会病院の横に移転し，訪問範囲を拡げているところです。訪問回数も400回を超える月もあり，スタッフの体調が心配されるところです。医療と福祉の一体化が進む中，施設から在宅へ，地域への施策のもと地域に密着した訪問看護に尽力させていただきたいと思います。　（髙城　健司）

延岡市医師会

９月１日，宮崎県労災部会県北支部総会が開催され，延岡労働基準監督署長の花田愛一郎様に「過重労働について」のご講演をしていただきました。この会で，本年１月に急逝された（故）清永勉先生に代わり新支部長に岡村博道先生が選任されました。また本会の事務局を延岡市医師会事務局内に設置することが了承されました。　（宮本　義明）

日向市東臼杵郡医師会

日向市には，国内屈指のサーフポイントがあり，９月23日㈯～10月１日㈰にかけて「2017世界ジュニアサーフィン選手権」が国際サーフィン連盟主催でお倉ケ浜海岸で開催されます。この選手権は，18歳以下の選手が参加する国際大会で，世界中から約50か国，約700人の選手及び役員の方々の来訪が見込まれています。当市の金ケ浜海岸ではここ数年，全日本医科歯科学生のサーフィン選手権大会も開催されており，サーフポイントとしての当市の知名度もかなり高くなってきています。現在，大会も近づき準備・応援体制など市挙げての最後の準備が進められているところです。市街地での各国選手団パレード時の沿道声援の協力依頼がありましたので，観戦・応援に協力したいと思っています。期間中天候に恵まれ，大会が成功のうちに終わることを願っています。　（渡邊　康久）

児　湯　医　師　会

９月の声を聞くと同時に，朝夕涼しさを感じるようになりました。涼しさを感じれば感じるほど，今年の夏が猛暑であったことが鮮明に思い出されます。この夏，各病医院では熱中症の診療に追われたことと思います。しかし時の流れは早く10月になればインフルエンザの予防接種が始まり，インフルエンザの時期が過ぎれば，いささか気が早いかもしれませんが，我々医療関係者が恐れる診療報酬改定の時期を迎えます。次から次へと大変な日々ですが，せめて診療報酬改定だけでもやさしいものであってくれればと願うばかりです。　（内田　俊浩）

西都市西児湯医師会

暑さもだいぶ和らぎ過ごしやすい季節となりました。当医師会では地域における医療・介護連携を今後も重点的に，活動を行っていく予定です。現在，宮崎市の市郡医師会病院の建て替え計画が挙がっているようですが，西都児湯の救急病院に関しては今後，当医師会・西都市・救急病院関係者の３者でどのようにしていくか話し合いが行われる予定です。救急病院で働く人に西都市で生活している人の希望が届くような会になればいいなと思っています。

（上山　裕史）

南　那　珂　医　師　会

本年４月に長い間南那珂地区での救急医療を支えて下さった民間病院が諸事情で救急外来を閉鎖されました。これに伴い，南那珂地区での救急指定病院は公立３病院のみとなりました。現在まで大きな混乱はないようですが，公立病院勤務の先生方の負担は増えていると思われます。地域の基幹病院として重症患者の入院なども多く大変お忙しいようです。開業医としてできるだけ基幹病院の先生方のサポートできればと考えておりますがなかなかです。地域医療において，数に限りのある医療資源を有効に活用するには病院や診療所の役割分担のシステム作りは大切です。しかし，同時にお互いの顔が見える人間関係があることも重要です。先日（６月）に県立病院医師と開業医の懇親会が開かれ大変有用な情報交換の場となりました。今後もこのような機会を増やし，勤務医の先生方と率直な意見交換ができるようになればと考えております。　（江良　幸三）

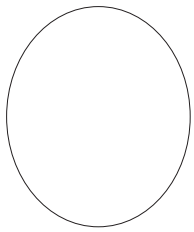
西　諸　医　師　会

第50回宮崎救急医学会を西諸県担当で８月５日台風が迫る嵐のなか，県医師会館で開催しました。県内から100名を超える参加者があり西諸県からも医師，看護師，消防から６題の演題発表がありました。熊本震災や福岡での豪雨災害などいつ我々も直面するかもしれない自然災害が多発しており，真剣で活発な議論が交わされました。医師会としても行政や消防などと連携してどう対応していくのかなど，シミュレーションなどの必要性を痛感しました。

（丸山　賢幸）

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院
患者支援センター(旧地域医療連携センター)



鈴木（すずき） 斎王（むねおう） センター長

平成12年10月地域医療連携推進センターとして発足以来17年となり，その間，平成21年７月に地域医療連携センターに，そして，平成29年４月１日より患者支援センターへ改称しました。改称にはそれぞれの意味が込められていますが，今回の改称は，今まで以上に，地域の患者さんや医療施設等のニーズに応えることを分かりやすく表現する意があります。名称は変更しましたが，業務内容が大きく変わったわけではありません。しかし，社会的ニーズと大学病院というビジョンを持ち，より進化はしていると自負しています。現在の人員体制は，29年７月現在，医師１名，看護師長２名，看護師９名，MSW(医療ソーシャルワーカー)８名，事務職９名のほか宮崎市立田野病院にもMSW１名，診療情報管理士２名を配置しています。院内の場所は，外来棟１階の診療受付の奥，西側立体駐車場から入ると廊下の右手に受付があります。現在，相談支援室も10室稼働しており，入院支援から退院支援に至ることはもちろん，医療，介護，福祉，がん等の患者さんをめぐる様々な相談に応じています。

現在行っている主な業務は以下の通りです。

１．関連医療機関等との入院・退院・転院等の連絡・調整
　１）入院支援・病床管理(前方連携)
　２）退院支援・退院調整(後方連携)
２．医療，介護，福祉等の相談(患者サポート体制)に関わる業務
３．がん診療連携拠点病院に関わる業務や相談支援
４．公費関係の業務
５．その他

今後患者さんがより快適に医療を受けられるように，様々な業務を拡大していく予定です。

まだまだ，充分に患者支援を行えているわけではありませんが，温かく見守っていただければと思います。

がん患者さんが増える今日，がん相談支援センターを開設しており，当院の患者さんのみならず家族や院外の方々からの相談も受け付けています。また，がん患者・長期療養患者就労支援としてハローワークの相談員が毎週火曜日には常駐しています。このほかにも，産業保健総合支援センターや宮崎県労働局とも連携して，患者さんが日常の生活を維持できるように取り組んでいます。

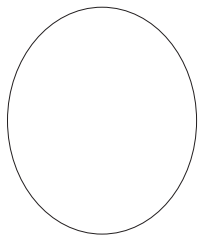
その他の業務としては，MSWや診療情報管理士，事務員向けの医療スタッフの教育や実習生の受け入れも行っています。

皆様には転院や退院の際にお世話になっておりますが，更なるご支援をお願いいたします。さらに，患者さんに最善の状態で高度医療を受けていただくように，疾病管理・栄養管理や口腔ケアなどご協力をいただきたく存じます。

センター長は宮崎県の医療資源調査事業も行っており，情報提供や医療資源の適正配置など県の医療行政にも貢献しています。

センター実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相談件数(実件数)	2,209	2,085	2,333
がん相談件数(延べ件数)	1,731	1,605	2,042
苦情相談件数(延べ件数)	9	52	9
セカンドオピニオン対応件数(延べ件数)	26	32	28
相談・面談件数(延べ件数)	7,484	8,210	11,197
退院支援患者数	1,089	1,170	1,355
退院支援件数	1,176	1,264	1,601

専門分科医会だより
（泌尿器科医会）



中山（なかやま） 健（けん） 会長

当医会の活動に関し，前回は平成27年11月に報告しました。現況ですが，まず会員数の動向について本年７月に改訂しました医会名簿により述べます。総数は82名で前回より１名の減少です。宮崎大学ならびにその関連施設の会員を除くと50名です。会員が所属する医療機関の数は，宮崎市21，都城市６，延岡市４，小林市４，日南市３，日向市３，東臼杵郡２，西都市１，児湯郡１でその所在地は県内ほぼ全域にわたっております。医会の役員は前回とほぼ同様で，副会長を児湯郡の永友和之，宮崎市の蓑田国広，幹事を大学の上村敏雄，県立宮崎の黒岩顕太郎，宮崎市の椎教次，福田聡一郎，南口尚紀，都城市の速見晴朗，延岡市の竹原俊幸，日向市の分田裕順，日南市の村上憲彦，小林市の池井義彦，そして監事を東諸県郡の棚田敏文の諸先生にお願いしています。このように各地からお願いしているのは，「何か事起こらば」に備えてということもありますが，幸いこれまでは杞憂に終わっています。

医会の例会は原則として毎奇数月と12月に行い，大学のお世話で全国各地の大学等から講師をお招きして最新の情報を拝聴していますが，本年９月が第210回でした。また，開業医中心の勉強会も行い，平成22年４月を初回として本年春には63回を数えました。その他，大学主催の日本泌尿器科学会・宮崎地方会があり，さらに全国規模の学術集会も当地で開かれており，本年８月には高齢化社会をメインテーマに認知症や糖尿病とがん，そして人工知能技術の未来像を考えるセミナーが開催され，県外からの参加者も多く盛会でした。また，11月には南九州（鹿児島・熊本・宮崎）３大学合同のカンファレンスが，私たち医会会員も参加して霧島の地で行われる予定です。なお，これらの情報は年２回発行の医会会報や随時の例会・講演会の予定案内で会員周知に努めています。

前回もご紹介しましたMiyazaki Urological Network: MiU-NETも順調に推移しており，大学を中心に地域の他科を含めた機関との前立腺がんや腎がんのクリニカルパスが行われています。あわせて，前立腺肥大症のコホート研究は平成26年４月１日から27年３月31日の１年間でMiU-NET施設により登録された症例が2,493例にのぼり，これを解析して大学の月野講師が本年４月，第105回日本泌尿器科学会総会で「内服継続率」を主題に発表されました。この研究はなお進行中です。

レクリエーションはゴルフが中心で，とくに例年12月下旬には「宮崎ハルンカップ」なる大会が賑々しく行われており，医会外からもたくさんの参加があります。

以上述べました諸活動を通じて，私が意としてきました「病診・診診連携」，「大学との協調」，「生涯教育の充実」の３本の矢はますます強固になっていると思いますが，今後は他医会との連携がさらに進むことを願う次第です。これからも当医会に対するご指導，ご協力をよろしくお願いいたします。

「新春随想」原稿募集

平成30年１，２月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。この欄は大変好評ですので，奮ってご投稿をお願いいたします。

題　材　医事評論，診療閑話，身辺雑記，詩歌，俳句等なんでも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等（１枚程度，カラー印刷はできません）も掲載できます。

字　数　800字以内（字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締　切　平成29年12月11日(月)

宛　先　宮崎県医師会広報委員会

◎　原稿には「新春随想」と明記してください。

◎　掲載については，広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。

◎　掲載はおひとり，１編とさせていただきます。

◎　ご投稿の原稿が他紙に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせください。

◎　原則として，原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。

◎　日州医事は，会員以外（マスコミ・行政・図書館等）にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス（genko＠miyazaki.med.or.jp）宛にお送りください。もちろん，それ以外の方法（FAX，郵便等）でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先
宮崎県医師会広報委員会　新春随想係
E-mail：genko＠miyazaki.med.or.jp
〒880-0023 宮崎市和知川原１丁目101
FAX 0985-27-6550　TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル，ご氏名を明記の上お送りください。

第18回宮崎県医師会医家芸術展

第18回を迎えました医家芸術展は，８月９日㈬から13日㈰の５日間，県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。多くの県民の方にもご来場いただき，無事に終了することができました。ご出展いただいた医師会員及びご家族の皆さまに感謝申し上げます。

なお，出展された作品の一部につきましては，作者の許可を得まして，今後１年間の日州医事の表紙を飾る予定となっております。楽しみにお待ちください。

また，開催期間中の来場者ですが，猛暑にもかかわらず，５日間開催の中では過去２番目に多い1,495人を数えました。おかげさまで，毎年の恒例行事として浸透していることが感じられます。

最後に，今年度も世話人の押川紘一郎先生(写真)，山内励先生(書道)，藤木浩先生(絵画)には多大なご尽力をいただきました。ここにお礼申し上げます。

出展者数，出展数及び，開催期間中の来場者数は以下のとおりです。

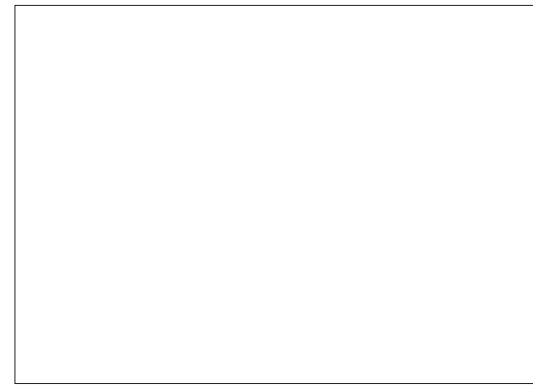
	出展者数	出展数
写　真	26名	56点
書　道	11名	20点
絵　画	22名	62点
合計	59名	138点

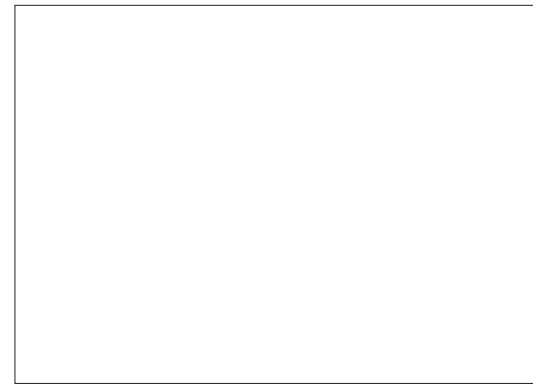
	来場者数	累　計
８月９日㈬	247名	247名
８月10日㈭	235名	482名
８月11日㈮	359名	841名
８月12日㈯	302名	1,143名
８月13日㈰	352名	1,495名

～来場者の方々からの感想をほんの一部ですが紹介いたします～

○今までにない作品が多数あり素敵でした。

○有料の美術展よりこちらの方が心に響きました！





(会場風景)

○楽しく，とても感動した。一字一字に込める思いがこのような作品になったんだなと思いました。また来ます。ありがとうございました。

○どの作品も良くて感動しました。

○とてもすごくてきれいな物ばかりでした。感動をありがとう。

－各種委員会－

勤　務　医　委　員　会

と　き　　平成29年８月17日㈭
ところ　　県医師会館

岩村理事の司会により開会した。河野会長の挨拶後，県医師会全理事協議会において，委員長は木佐貫篤先生，副委員長は山本章二朗先生に決定したことが報告され，参加者の自己紹介が行われた。

１　会長諮問

河野会長から木佐貫委員長へ「勤務医の医師会活動への参加を活発にするための方策」について諮問され議事に入った。

２　報　告

１）医師の勤務環境及び改善支援の取組みの状況について

①県医師会の取組み（医療勤務環境改善支援センター事業）について

県の委託を受け，平成27年に「宮崎県医療勤務環境改善支援センター」を設置している。同センターでは，医療勤務環境マネジメントシステムについて医療機関への広報や普及セミナーの実施，また労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医療経営アドバイザー（医業経営コンサルタント）による労務管理や医業経営等についての相談窓口が設置されていることが報告された。相談実績が少ない（平成28年度７件）状況にあることから，更に周知・広報の必要があるとの意見があった。

②日本医師会の取組みについて

日医では，政府の進める「働き方改革実行計画」の決定を踏まえ，医師の働き方検討委員会が設置され検討が始まった（６月21日に第１回開催）。医師の長時間労働規制の具体的な在り方や労働時間の短縮策等について，２年後を目途に結論を得ることとされており，労働基準法改正の施行の５年後を目途に規制が適用されることとなる。

また，厚労省から都道府県に対し，労働基準法に抵触する疑いのある医療機関を把握し助言する等の対応を求める課長通知が出されている。こうしたことから，今後，医療勤務環境改善支援センターの役割は重要性を増していくとの説明があった。

勤務医の勤務環境改善は，病院の経営面に大きな打撃となり得る。医師会としては，法の遵守と同時に，診療報酬増額にもプレッシャーをかけてほしいとの意見があった。

２）県医師会勤務医部会の取組みについて

県医師会勤務医部会では，年３～４回の理事会及び年２回の講演会を開催している。また，各郡市医師会等で勤務医対象の講演会を開催した場合，助成金を交付していることが報告された。

３）県医師会における女性医師支援の取組みについて

本会が，県の委託を受け実施している「女性医師就労環境改善支援補助金」では，県内の医療機関に対し，女性医師の短時間勤務や日当直免除の代替医師の人件費等の補助を行っている（平成28年度実績；４施設635万円補助）。また，県の補助を受け実施している「女性医師保育支援サービスモデル事業」は，現在宮崎市郡管内の女性医師等を対象に保育サポーターが一時的預か

りを行う事業で，現在40名の女性医師に登録いただき保育支援を行っていること等が報告された。

4）　その他

①勤務医会員の日本医師会費(医賠責保険料)の引下げについて

日医では勤務医の医師会加入を推進するため，来年度から会費に含まれる医賠責保険料が引き下げられる。また，臨床研修医の会費は，平成27年度より実質無料化していることが説明された。

②宮崎県医師協同組合における勤務医関連事業について

勤務医は，県医師会入会と同時に宮崎県医師協同組合の賛助会員として自動加入となる。県医師協同組合事業(医学書や電化製品の割引購入等)の利用に加えて，同組合で実施している勤務医関連事業として，ライフプランセミナー(年５回開催)，安い保険料で加入できる会員限定のグループ保険(団体生命保険)，年会費永年無料のメディカルMCカード等について紹介があった。

3　協　議

1）勤務医の医師会活動への参加を活発にするための方策について

臨床研修医の会費無料化を受け，現在は100％近い臨床研修医が医師会に入会しているが，免除期間終了後も会員を継続いただけるかがポイントとなる。報告で挙がっていた勤務医会員に対する各種取組みやサービスの広報，また，郡市医師会間の入・退会手続きの簡素化，医師資格証の普及等により，医師会入会の魅力やメリットを勤務医に対して積極的かつ継続的に発信していくことが必要との意見があった。宮大医学部の教授等への入会アプローチも，医局入局者の入会につながる方策であるとの意見があった。一部の郡市医師会では医師会員が高齢化しており，勤務医等の若い会員の入会が社会から求められる医師会活動の継続に繋がるという指摘もなされた。

2）医師の働き方について

報告１)のとおり。

出席者－木佐貫委員長，山本副委員長，
　　國武・松尾・谷口・島名委員
(県医)　河野会長，富田副会長，荒木・
　　金丸常任理事，岩村・米澤・
　　嶋本理事，久永・松本・牧野課長，
　　野尻課長補佐，串間主事
(県医師協同組合)　小川事務長

健　康　教　育　委　員　会

と　き　　平成29年９月７日㈭
ところ　　県医師会館
　　(テレビ会議：都城・延岡)

1　開　会

2　挨　拶

宮崎県医師会副会長　濱田　政雄

3　報　告

1）平成28年度健康教育事業について

昨年度宮崎県医師会が開催した健康教育

事業(宮日新聞への掲載等)，会員，各専門分科医会が行った健康教育事業について報告を行った。平成28年度の実績は，各郡市医師会が105件，各分科医会が92件であった。

2）平成28年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

「健康寿命，日本一を目指そう！」をテーマに平成29年２月19日㈰に開催した。130名の参加があり大変好評であった。

3）健康教育事業費補助事業について

平成26年度から開始した同補助事業について説明があった。

4　協　議

1）諮問事項「健康寿命延伸のための効果的な健康教育の方法について」

昨年度提示された諮問事項について検討を行い，今年度中の答申を行うべく今後答申案を作成していくこととなった。

2）平成29年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

今年度の同セミナーは，平成30年２月25日㈰に宮崎県医師会創立129周年記念医学会と同時開催となったことが報告された。

健康教育委員会から１題，健康スポーツ医学委員会から１題，計２題の講演内容を企画することが承認され，健康教育委員会からのテーマ案として「口腔ケア」に関する内容が委員から提示された。

5　閉　会

出席者－中山委員長，松本副委員長，
大橋・大重・瀧井・竹中・丸山・
糸数・福井・帖佐(宣)委員
(県医)　濱田副会長，小牧常任理事
牧野課長，横山主事

医学会誌編集委員会

と　き　　平成29年９月８日㈮
ところ　　県医師会館

嶋本理事の司会により開会，濱田副会長の挨拶に続き，協議が行われた。

掲載論文19編からなる第41巻第２号のカテゴリーの検討が行われ，総説２編，症例９編，診療５編，地域医療２編，クリニカルカンファレンス１編と，編集後記担当者を決定した。

第42巻第１号総説の執筆依頼については，候補者の中から最終的な依頼先を委員長が選定することが承認された。

前期より引き続きの検討事項である投稿規程改訂について案が決定され，９月に行われる県医師会全理事会で協議にあげることとなった。

出席者－松岡委員長，河野副委員長，甲斐・
後藤・黒川・黒岩・牧元・武田・
松本・稲津・竹永・阿南委員
(県医)　濱田担当副会長，嶋本担当理事，
小牧副担当理事，川端・横山主事

地域医療構想調整会議の進め方に関する協議会

と　き　平成29年８月14日(月)
ところ　県医師会館

本県では平成28年10月に地域医療構想が策定されたが，今後，地域医療構想調整会議において本格的な検討が進められていくにあたり，調整会議の議長である郡市医師会長と事務局である保健所に参加していただき，情報の共有等を行った。

池井常任理事の司会進行で，河野会長，畑山県福祉保健部長の挨拶の後，議事に移った。

１．調整会議の協議内容とスケジュールについて

県医療薬務課上田主幹から，調整会議は年４回程度開催され，各医療機関の現状把握や構想区域内で不足する医療機能等の再確認，役割分担などについて協議が進められていくことが示された。また，医療機関の開設・変更許可，病床設置・種別変更など，病床に関わる許可の申請を行おうとする医療機関は，調整会議に出席し地域の合意を得ることが必要になると説明された。

２．地域医療構想について

富田副会長から，今後の調整会議における検討の重要性や，検討を進めていく上での注意点などの説明があった。特に，地域医療構想における2025年の医療需要について，推計方法の問題点などを詳しく説明し，医療需要を削減目標と間違えないように，慎重に検討していただくことを依頼した。

３．地域医療構想に関するデータについての解説

宮崎大学医学部鈴木斎王先生から，地域医療構想に関する調査事業の報告があった。調整会議での検討材料とするため，専門医の数や疾病ごとの医療需要などの情報を収集し分析を進めていること，また，レセプトから各医療機関の入院患者の状況を分析するツールを提供して自主的な選択に役立てていただくようにしていることが説明された。

出席者－
(各郡市医師会)山村副会長(宮崎)，
飯田会長(都城)，吉田会長(延岡)，
鮫島(貴)理事(日向)，永友会長(児湯)，
松本会長(西都)，島田会長(南那珂)，
丸山理事(西諸)
(保健所)中央保健所 穴見次長，
日南保健所 相馬所長，
都城保健所 和田所長，
小林保健所 小西次長，
高鍋保健所 岩本所長，
日向保健所 藤崎課長，
延岡保健所 瀧口所長，
高千穂保健所 上谷所長他
(宮崎大学医学部患者支援センター)
鈴木センター長他
(県福祉保健部)
畑山部長，日高次長，田中課長他
(県医)　河野会長，富田副会長，
池井・石川常任理事，
久永課長，鳥井元課長補佐

九州医師会連合会第366回常任委員会

と　き　平成29年８月26日㈯
ところ　ホテルニューオータニ博多

１　九州医師会連合会長挨拶
福岡県医師会長　松田　峻一良

２　報　告

１）第113回定例委員総会について

本常任委員会終了後に開催される第113回九州医師会連合会定例委員会総会の内容，スケジュールの報告があった。

２）その他

３　議　事

第１号議案　平成28年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件
第２号議案　平成29年度九州医師会連合会事業計画に関する件
第３号議案　平成29年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件
第４号議案　平成29年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件
第５号議案　平成29年度九州医師会連合会監事（２名）の選定に関する件
第６号議案　平成29年度第117回九州医師会医学会事業計画に関する件
第７号議案　平成29年度第117回九州医師会医学会会費賦課に関する件
第８号議案　次回第118回（平成30年度）九州医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回第119回（平成31年度）同学会開催担当県の内定に関する件

第１号議案から第７号議案について，各々審議され第113回定例委員総会に提案することが了承された。

第８号議案については，次回第118回は鹿児島県で決定，次々回の第119回は，佐賀県が内定となった。

４　協　議

１）九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに第２回九州ブロック災害医療研修会（平成30年１月20日㈯・21日㈰福岡市）の開催について（福岡）

第２回九州ブロック災害医療研修会が来年１月20日15:00から17:00と翌日21日の９:00から15:30にかけてホテル日航福岡で開催することが了承された。併せて救急・災害医療担当理事連絡協議会も同会場で17:10から開催されることも了承された。

２）九州医師会連合会感染症担当理事連絡協議会並びにHIV医療講演会（平成30年１月27日㈯那覇市）の開催について（福岡）

九医連HIV医療講演会が来年１月27日15:00から16:45まで，その後感染症担当理事連絡協議会が17:00から19:00の日程でANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューで開催することが了承された。

なお，協議項目の１，２の研修会，講演会の開催は今年度であり今後，継続して開催するかどうかは，開催当番県の判断によることとされた。

３）次期日本医師会会長候補者の推薦について（福岡）

九州医師会連合常任員会では，横倉会長は，現在３期目だが新専門医制度，地域医療構想，地域医療計画など多くの課題に今後も対処していただくよう次期日本医師会会長候補者として推薦することが決定された。

出席者－河野会長，山内事務局長

第113回九州医師会連合会定例委員総会

と　き　平成29年８月26日㈯
ところ　ホテルニューオータニ博多

１　開　会

２　挨　拶

１）前九州医師会連合会会長
熊本県医師会長　福田　稠

２）九州医師会連合会会長
福岡県医師会長　松田　峻一良

松田会長の挨拶の中で，この会に先立って開催された九医連常任委員会で横倉日本医師会会長を次期会長候補者として決定したことが報告され，本定例委員総会での推薦が提案された。

満場一致で次期会長候補者として横倉会長を推薦することが決定した。

３　来賓祝辞

１）日本医師会長　横倉　義武

２）日本医師会常任理事　今村　定臣

４　報　告

１）第366回常任委員会について

第１号議案から第７号議案を本定例委員総会に提案することと平成30年度九州医師会医学会は鹿児島県で開催すること，平成31年度は佐賀県での開催が内定したことが報告された。

２）平成28年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

５　議　事

議案は，常任委員会の１～７号議案に同じ第１号議案から第４号議案，第６号及び第７号議案については原案どおり報告了承された。

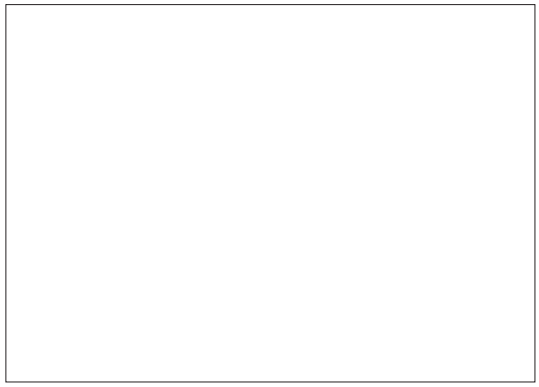
第５号議案の平成29年度の監事については，佐賀県の志田正典委員，大分県の織部和宏委員が選定された。

６　その他

出席者－河野会長，富田副会長，
立元・吉田常任理事，飯田議長，
山内事務局長，松本課長，田崎主事

平成29年度九州学校検診協議会幹事会

と　き　平成29年８月５日(土)
ところ　ホテルニューオータニ佐賀(佐賀市)



佐賀県医師会の池田会長，九州医師会連合会・九州学校検診協議会の松田会長の挨拶の後，慣例により，松田会長が座長に選出され，協議に入った。

協　議

１．平成29年度九州学校検診協議会役員について

役員の一部変更(幹事１名の追加，会計監事１名の交代)について報告があり承認された。

２．平成28年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

事業報告並びに決算について報告があった。

３．平成29年度九州学校検診協議会の事業計画(案)並びに予算(案)について

事業計画並びに予算について説明があった。平成29年度も専門委員会を２回開催すること，各県の分担金を含めた予算案も含め全会一致で承認された。

４．九州学校検診協議会専門委員会運動器部門の設置について

平成28年度第２回専門委員会において，運動器部門の設置の要望があったことを受け提案があり承認された。

５．「児童生徒等の健康診断の実施状況調査」における運動器検診に関する調査継続の申し入れについて(福岡県)

平成28年度は，文科省により運動器検診に関して「児童生徒等の健康診断の実施状況調査」が行われたが，平成29年度は実施されない。検診を効率的に運用していくためには経年的に調査を実施し状況を把握していくことが重要であるため，本協議会から日医へ，平成30年度の調査実施について文科省へ申し入れいただくことを要望したいとの提案があり承認された。

６．九州学校検診協議会専門委員会の座長の交代について

先に行われた専門委員会の腎臓部門と小児生活習慣病部門について，座長交代の申し出があり承認された。新座長は腎臓部門が鹿児島県の二宮誠先生，小児生活習慣病部門が福岡県の山本幸代先生となる。

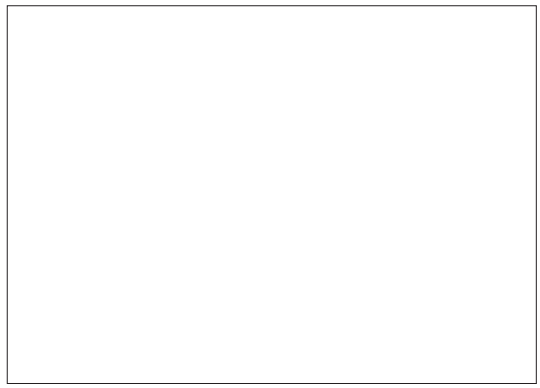
報　告

１．平成29年度九州学校検診協議会第１回専門委員会について

先に行われた各専門委員会の心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の各部門について報告が行われた。

出席者－河野会長，富田副会長，
髙村常任理事，
髙木・宮田学校医部会理事，
山内事務局長，久永課長，
野尻課長補佐，畠中・福田主事

九州各県医師会学校保健担当理事者会
（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）



池田佐賀県医師会長，道永日医常任理事の挨拶の後，慣例により，池田会長が座長に選出され協議に入った。

協　議

1．学校医の確保について（鹿児島県）

開業医などの高齢化により，学校医の担い手が不足している。特に離島においては，耳鼻科や眼科の専門医がおらず，学校健診自体もできない状況があることから何らかの対応が求められている。九州各県における状況や学校医不足への対応策についてご教示いただきたいとの提案理由が説明された。

多くの県で学校医の担い手不足には苦慮している。特に離島が多い県での学校医の確保や耳鼻科・眼科の専門医の確保は難渋していることが報告された。学校医が複数校を兼任するなどして対応している県もあった。

2．私立学校への学校保健の対応について（鹿児島県）

学校健診に関する対応については，県教育委員会と協議し進めているが私立学校との協議は行っておらず，学校医活動において混乱が生じている。また県行政においても，国公立学校を県教育庁，私立学校を総務部学事法制課が担当しており，縦割りの対応から相互の連携が図れず，学校健診における調整も図れていない。九州各県における私立学校に対する対応と日医の見解についてご教示いただきたいとの提案理由が説明された。

各県とも私立学校は県教育庁の所管ではなく十分な連携が図れていなかった。日医からは，宮崎・福岡・沖縄県以外は，学校保健会に私立学校が入っているので，学校保健会を通してコンタクトを取る方法もあるとのことであった。

3．学校医報酬の対応について（福岡県）

近年，学校医を取り巻く状況は急激に変化してきており，運動器検診や成長曲線等の新たな取組みが実施されたことによって学校医の負担も増加してきていると感じているが，学校医報酬額についてはここ数年間で変更等はない状況である。昨年度郡市医師会に対し「学校医に関するアンケート調査」を実施し，その調査結果から学校医報酬額は地域によって様々であるということが判明した。できるだけ学校医報酬基準額を増額し，基準額を下回る学校の報酬額を基準額程度へ引き上げを図る必要があると考える。現在の学校医報酬について今後どのように対応されていくのか，各県の現状と日医の見解を伺いたいとの提案理由が説明された。

各県とも学校医の報酬額は地域によって異なっていた。日医からは，日医が行った学校医の現状に関するアンケート調査でも報酬額増額の意見は伺っている。日医の学校保健委員会でも検討を行っており，いい方向性を出

したいとのことであった。

4．学校におけるがん教育の今後の対応について（福岡県）

政府が策定した「がん対策推進基本計画（平成24年６月）」において，５年以内にがん教育をどのようにすべきか検討し，検討結果に基づく教育活動の実施を平成29年度以降に全国展開することを目指すとされている。学校教育を通じてがんについて正しく理解し，健康と命の大切さについて主体的に考え，適切に行動をとることができるようになる教育が望まれる。文科省の「がん教育」の在り方に関する検討会の報告やモデル事業の結果を検討し，文科省が公開しているDVDやスライドも参考にしつつ，県教育委員会と実施に向けて協議していきたいと考えている。各県の現状と今後の方針や具体的な対応，日医の見解を伺いたいとの提案理由が説明された。

各県とも，がん教育に関する教材の作成や協議会の設置，研修会の実施等の取組みが行われていた。

5．学校における成長曲線の活用状況について（福岡県）

平成26年４月に公布された「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令」では，児童生徒等の健康診断について，子どもたちの発育を評価する上で，身長・体重の成長曲線を積極的に活用することとなった。しかし，学校現場ではその意義が広く理解されているとは言い難く，学校医を対象にアンケート調査を行ったところ，その利用状況は極めて低調であり，その多くは学校側から曲線の使用依頼がなく，学校医に対して意見を求められることがないという状況であった。成長曲線は，肥満ややせの医療的介入の必要性を評価するには極めて有用であり，今後積極的に活用していきたいと考えている。各県の現状と日医の見解を伺いたいとの提案理由が説明された。

県によって成長曲線の活用が進んでいる県とそうでない県があった。日医からは，成長曲線の活用は始まったばかりだが，前年のデータとの比較が重要となる。現在，成長曲線ソフトを使うと３～４割もの子どもに異常値が出てしまっているということで，日医雑誌に成長曲線に関する詳しい記事を載せることになった。文科省や日本学校保健会と協議をしており，成長曲線の判定マニュアルの作成を進めていきたいとのことであった。

中央情勢報告

道永日医常任理事から中央情勢報告があった。

子どもをめぐる現状について20年前と比較すると，不登校の生徒の割合，学校管理下での暴力行為の件数，特別支援学級・学校に在籍する生徒数などが増加し，学校が抱える課題は複雑化・困難化している。このような中，保護者は共働きの世帯が増え，学校の負担が更に増える要因となっている。

昨年度，内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科の学校医を対象に「学校医の現状に関するアンケート調査」を行い，3,387の回答（回答率約60％）をいただいた。運動器検診に要した時間は，健診全体で今までより1.2倍，１人当たり１分以上２分未満の時間を要したとの答えが多かった。保健調査票を養護教諭が事前チェック・情報整理が行われたこと，また，各地域で運動器検診に関する研修が開催されたことで，健診の時間が1.2倍程度で収まったものと言える。また，学校医の中で教職員の健康管理に関わっている割合は４割近くで，その内ストレスチェックに関わっている先生は１割程度であった。子どもは学校医が，教職員は健康管理医が別々に対応すべき

だと考えている。

文部科学省への平成30年度概算要求については，①健康診断など児童生徒等の健康管理体制の充実，②教職員の健康管理の更なる充実，③がんの教育総合支援事業，④ネットによるいじめやネット依存による生活習慣病防止，⑤学校保健総合支援事業の充実，⑥特別支援学校等における医療的ケアの充実，⑦アレルギー疾患の医療提供体制の整備事業の創設，の７項目を要望した。

横倉会長が日本学校保健会会長として，中央教育審議会の中央教育審議会総会と初等中等教育分科会に参画している。中央教育審議会総会は，学校指導要領を始めとした教育に関する重要項目について文部科学大臣に意見を述べる審議会である。６月に文部科学大臣より学校における働き方改革についての方策を検討する諮問が出され議論がなされている。初等中等教育分科会では，学校保健，学校安全及び学校給食に関する重要事項を検討している。

出席者－河野会長，富田副会長，
髙村常任理事，山内事務局長，
久永課長，野尻課長補佐，
畠中・福田主事

翌日（平成29年８月６日）は，「健やかな成長を願って～守ろう，こころ・からだ・いのち～」をメインテーマに，第61回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成29年度九州学校検診協議会（年次大会），平成29年度九州医師会連合会学校医会評議員会が開催されたが，台風のため欠席した。

第62回（平成30年度）大会は，鹿児島県担当で平成30年10月27日㈯に鹿児島市の城山観光ホテルで全国学校保健・学校医大会と兼ねて開催予定であり，第63回（平成31年度）大会は大分県担当で開催することが内定した。

お 知 ら せ

クールビズについて

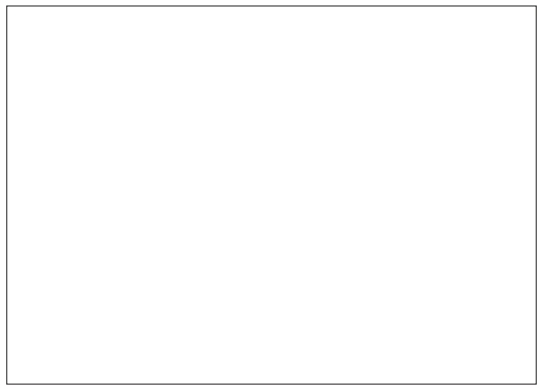
県医師会では，地球温暖化防止に向け，平成29年５月１日より平成29年10月31日までの間，県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖等）で結構です。地球温暖化防止のため，ご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年度九州学校検診協議会第１回専門委員会

と　き　平成29年８月５日㈯
ところ　ホテルニューオータニ佐賀

１．心臓部門　座長：吉永　正夫
（鹿児島県医師会学校保健委員会委員）



１）九州各県における学校管理下の心臓性突然死（平成28年度）について（報告）

学校管理下の心臓性突然死について，日本スポーツ振興センターからの情報提供資料が示された。昭和49年からの集計で，心臓突然死は，小学生が64件，中学生が81件，高校生が123件と年齢が高くなるにつれ多くなっている。男女比は2.35対１で男性が多い。平成28年度は佐賀県で１例，大分県で１例発生しており，発生の状況や対応状況等について詳細な報告があった。

２）心臓検診時の統一病名（平成28年度）について（九州各県）

九州各県から心臓検診の統一病名による集計の報告があり，特に一次検診から二次や三次への抽出率について議論を行った。

３）判読委員構成比について

九州各県の各郡市医師会に対して行った心臓検診の判読員の状況に関する調査結果についての報告があった。

４）若年者の心肺蘇生事例調査（平成28年）について（九州各県）

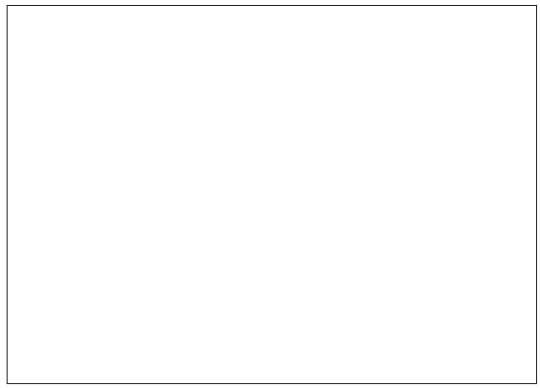
20歳未満の学校管理下以外を含む心肺蘇生事例について消防機関や学校等から報告をしていただいている。調査報告の中で心疾患が原因とみられる事例について各県から報告が行われた。

５）若年者の心肺蘇生事例調査の集計や情報公開，情報提供者へのフィードバック方法について（福岡県）

上記４）の調査に関して，消防機関や学校等の情報提供者にフィードバックする際に，個人が特定される懸念等があり，どの程度の情報ならばフィードバックできるかなどの協議を行った。

出席者－髙木学校医部会理事，久永課長

2．腎臓部門　座長：服部　新三郎
（熊本県医師会学校検診委員会委員）



1）平成28年度腎臓検診結果の集計について

各県とも一次検尿の受検率は９割以上なのに対し，三次検尿の受検率は６～７割と低いことが報告された。三次検尿の受検率を上げていくことが課題となる。

福岡県から現行の集計表に二次検尿の集計欄を加えた集計表案が提案された。各県の郡市医師会においてこの集計が可能かどうか，次回の専門委員会で再度検討することになった。

2）長崎県の私立小中学校及び高等学校に対する学校検尿アンケートの結果と県下の児童生徒の学校検尿の把握率について（報告）
（長崎県）

公立小中学校の集計を行っている郡市医師会からの報告と検査機関からの報告との間に，掌握数の差異がある。平成28年度分からは県教育委員会と学事振興課の協力で，公立小中学校以外の小，中，高等学校にアンケートを行い回答を得ることができるようになったが，郡市医師会が把握している学校数と学校からデータを直送いただいている数等を足しても，実際の学校数より少なく，どうしても数％は把握できていない学校があるとの報告があった。

3）高等学校，特別支援学校，私立学校に対する学校検尿の取組みについて（福岡県）

4）福岡県下私立学校96校に対して行ったアンケート調査ならびに開示された検尿結果の報告について（福岡県）

福岡県では県下96校の私立学校へのアンケート調査を行い，検尿結果の開示を求めたが，回答率は61.5％にとどまった。尿異常や臨床診断の分類集計を行っている学校は少なく，病理診断の分類を行っている学校はなかった。また，４分の３の学校は検尿結果の集計を行っておらず，精密検査の結果を集計している学校は１割に満たなかった。三次検尿の受検率は37.4％と低く，受検率を上げていくことが課題であるとの報告があった。

宮崎県を含めいくつかの県でも，私立学校へ検尿結果の開示についてのアンケート調査を行っており，協力を得られている県と得られていない県があった。また，県の私立学校担当課へ協力を求めている県もあるが，県の対応は様々であった。

専門委員会で統一したアンケート案を作成し各県で調査を行うこととなった。

5）各県別『ステロイド治療を行ったIgA腎症の新規発見件数とその発見契機における学校検尿の割合』のWebサイトへの掲載について

九州小児ネフロロジー研究会の協力を得て九州で小児の腎生検を行っている施設へ以下のアンケートを行った結果，IgA腎症の発見契機が学校検尿であった割合が高かったことが報告された。①の結果を福岡県メディカルセンターのWebサイトに掲載することで，学校検尿の有用性を示す根拠になるのではとの提案があった。②③については，マニュアル改訂の材料として使え

るのではないかと考え調査を行ったことが説明された。

①平成28年度の「ステロイド治療を行ったIgA腎症の新規発見件数とその発見契機における学校検尿の割合」

②九州学校腎臓病検診マニュアルの内容について改定すべき点

③学校検尿の運用における問題や事例

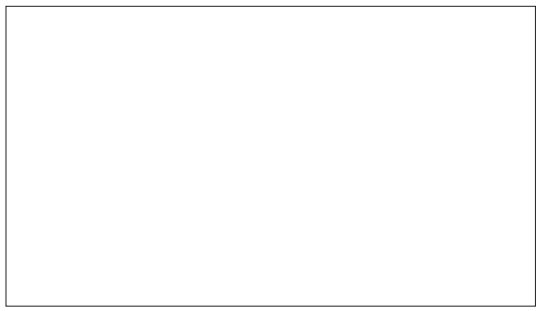
九州小児ネフロロジー研究会事務局がこの集計を継続して行っていくことは事務的に難しく費用面でも問題がある。

九州学校検診協議会の趣旨は，学校検尿システムの改善等に取り組むことだが，一つの疾患を詳しく調査することが，協議会の趣旨に沿っているのかとの意見があった。各県で同様の調査が可能かどうか検討することになった。

マニュアルの内容や改訂の時期についても今後検討することになった。

出席者－宮田学校医部会理事，野尻課長補佐

3　小児生活習慣病部門　座長：田﨑　考（九州学校検診協議会第１回専門委員会）



1）平成28年度九州地区尿糖陽性者群集計結果のまとめについて（佐賀県）

平成28年度の熊本県を除く九州地区における尿糖陽性者は，受験者1,138,685名中1,207名（0.11％）であり，うち既管理者も含め糖尿病（疑いも含む）と診断を受けた者は111名（0.01％）であったことが報告された。

尿糖強陽性者に対する緊急受診システムについては，各県における実態調査を行い，次年度の専門委員会において，調査結果をもとに協議を行い，統一されたシステムの整備を目指す方針が示された。

2）小児生活習慣病予防健診の動向（活動状況）について（佐賀県）

今回の報告では，新たに生活習慣病検診を始めた市町村はなかったが，既に実施している地域からは，成長曲線・肥満度曲線の活用について，「学校や養護教諭の負担が大きい。郡部などではパソコン環境が整っていない学校もある」「曲線から養護教諭が異常と判断するのが難しい」などの問題が挙げられた。このような課題を抽出し，活用をサポートすることを目的に，北九州市では活用状況の調査を予定している。北九州市での調査をパイロット版とし，今後，九州圏内における調査の実施を検討することとなった。

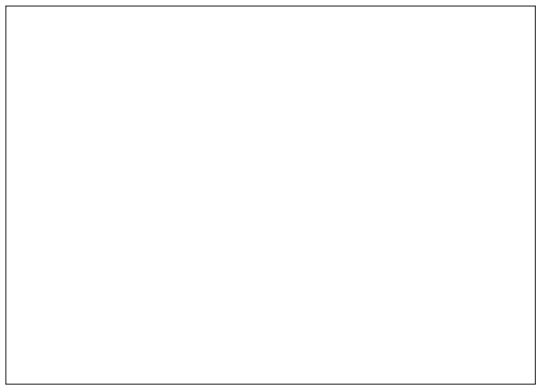
3）北九州市，福岡市の平成28年度小児生活習慣病健診集計結果について（福岡県）

福岡市，北九州市では平成28年度から小児生活習慣病健診を導入しており，福岡市では小学校４年生で高度肥満児童全員に，また，北九州市では全学年の肥満度曲線異常（高度肥満，肥満の急進，高度やせ，やせの急進）全員に受診勧奨を行っている。今回，北九州市で，高度肥満および肥満の急進を指摘され受診した児童の精査結果の解析を行ったところ，９割以上が小児肥満症，３割以上が小児メタボリックシンド

ロームであったことから，肥満度曲線の有用性が確認されたことが報告された。

出席者－畠中主事

4　運動器検診協議　　座長：稲光　毅
（福岡県医師会理事）



1）運動器検診に関する実施方法の変更点や工夫点等について（福岡県）

2）運動器検診の課題と改善点について
（鹿児島県）

1）2）一括協議

平成28年度は運動器検診実施の初年度であり，実際に検診を行うことで諸問題や課題が認識されてきた。２年目になり各県で行った実施方法や問診票の変更，工夫した点や取組み等が報告された。宮崎県では，フローチャートを作成し検診の流れを明確にし周知したことなどの報告を行った。

3）運動器検診に関する今後の調査予定について（福岡県）

文部科学省により運動器検診に関して，「平成28年度児童生徒等の健康診断の実施状況調査」が行われたが，平成29年度は実施されていない。検診を効率的に運用していくためには，調査を継続的に実施していくことが必要であるという福岡県の意見を踏まえ，各県独自の調査予定等の現状が報告された。各県によって調査予定の有無はあったものの，今後も調査を実施すべきということが確認された。

出席者－髙村常任理事，福田主事

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の２本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信
目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内等）
対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用メーリングリスト
目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供
対象：会員本人のみ

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会　学術広報課
TEL 0985-22-5118

生活習慣病（糖尿病・COPD等）担当理事連絡協議会

と　き　平成29年８月２日㈬
ところ　日本医師会館

８月２日に生活習慣病（糖尿病・COPD等）担当理事連絡協議会が開催された。温泉川常任理事の司会により開会後，横倉日医会長より挨拶があり「生活習慣病対策は喫緊の問題であり，行政と医師会等関係団体が連携して取り組む体制を早期に構築する必要がある」と述べられた。続いて下記のとおり説明・協議が行われた。

１　COPD対策推進の現状と課題

日本医師会常任理事　羽鳥　裕

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は，タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じる肺の炎症疾患であり，世界の死因ランキングでは，虚血性心疾患，脳卒中に次いで３位であることから，COPD対策は，健康寿命の延伸を図るうえで重要な課題とされている。

平成22年12月に日本医師会，日本呼吸器学会，結核予防会，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会の４者により設立された「日本COPD対策推進会議」では，日常診療におけるCOPDの早期診断，適切な治療及び医療連携の推進を目的とした「COPD診療のエッセンス」の作成や，「COPD啓発プロジェクト」を発足し，認知率を80％に引き上げ，発症予防，早期発見，早期治療に繋げることを目標に継続的な啓発活動を行っている。

また，健康日本21（第二次）においては，COPDをがん，循環器疾患，糖尿病に並ぶ主要取組み疾患に取り上げ，COPD対策に関するかかりつけ医の知識向上，地域包括ケアのための支援体制の整備を課題とした。国には，日本COPD対策推進会議への積極的な支援と，将来的にCOPD対策を医療計画中に位置づけることを検討いただきたい。

２　糖尿病重症化予防等に関する対策の現状と課題

厚生労働省保険局国民健康保険課長

鳥井　陽一

平成27年度の死因別死亡割合において，糖尿病を主病名とするものは全体の１％で，一般診療医療費は4.2％（1.2兆円）を占めた。脳血管疾患や心疾患の患者には，糖尿病の患者も含まれているため，潜在的にはさらに多いことが想定される。また，透析患者数も年々増加しており，平成27年末には約32万５千人に上り，人工透析に係る医療費は年間約1.57兆円と推計された。

そのような中，平成27年７月に経済界・医療関係団体・自治体・保険者のリーダーが，民間主導で健康寿命の延伸とともに医療費の適正化を図るため，予防・健康づくりの取組み状況の可視化と先進事例の横展開を進めていく「日本健康会議」を発足した。同会議が取りまとめた「健康なまち・職場づくり宣言2020」の宣言２として「生活習慣病の重症化予防に取り組む自治体を800市町村，広域連合を24団体以上とする。その際，糖尿病対策推進会議等の活用を図る」ことが掲げられたことを受け，厚労省は，多くの市町村及び広域連合が生活習慣病の重症化予防に取り組むことができるよう「重症化予防ワーキンググループ」を開催。さらに，平成28年４月に

は，厚労省・日医・日本糖尿病対策推進会議の３者が協定を締結し，国レベルでの「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定することで，都道府県レベルでの展開を期待した。しかし，平成28年10月の調査では，都道府県版プログラムを策定したのは６県に留まったことから，平成29年３月に厚労省から都道府県及び市町村に対して，改めて都道府県版プログラムの策定，庁内連携の推進，医師会や糖尿病対策推進会議等との連携協定の締結を要請したところである。

また，平成27年の国保法等改正において，市町村国保について「保険者努力支援制度」が創設（平成30年施行，平成28年度から前倒し実施）され，糖尿病重症化予防などの取組みを客観的な指標で評価し，支援金を交付することになったことで，市町村での糖尿病重症化予防の取組みが展開されることを期待している。

日本医師会副会長　今村　聡

糖尿病性腎症重症化予防プログラムをはじめ，国が掲げる糖尿病対策には，糖尿病対策推進会議の活用や役割が明記されているものの，平成28年度時点の調査で，行政と連携しているのは22都道府県に留まっており，中には，各県に糖尿病対策推進会議があることを知らないという市町村もあることが分かった。今後，日医としては，都道府県糖尿病対策推進会議窓口（担当者）の明確化や，自治体担当者の出席を呼びかけての日本糖尿病対策推進会議総会を定期的に開催することで，自治体との情報共有や連携体制構築を図っていく予定である。

３　特定健診・保健指導第３期見直しについて

日本医師会総合政策研究機構
研究部統括部長補佐　吉田　澄人

第３期実施計画期間（平成30～35年度）における特定健診・保健指導の保険者全体の目標については，第２期の目標値である特定健診実施率70％以上，特定保健指導実施率45％以上を維持すること，また，特定健診・特定保健指導は，内臓脂肪の蓄積に起因する糖尿病等の発症・重症化予防により医療費を適正化するために保険者が共通に取り組む保健事業であることから，効果的な保健事業に取り組む環境づくりを進め，保険者機能の責任を明確にするため，厚労省において，全保険者の特定健診・保健指導の実施率を平成29年度実績から公表することとされている。

特定健康診査の健診項目及び特定保健指導の実施方法についての主な見直し点については下記のとおり。

特定健康診査

⑴基本的な健診の項目

①血中脂質検査

中性脂肪が400㎎/dl以上である場合または食後に採血する場合には，LDLコレステロールに代えて，non-HDLコレステロールを用いて評価した場合においても血中脂質検査を行ったものとみなす。

②血糖検査

やむを得ず空腹時以外の場合で，HbA1cを測定しない場合には，食直後を除き，随時血糖による血糖検査を可とする。

⑵詳細な健診の項目

①血清クレアチニン検査

血清クレアチニン検査を詳細な健診の項目に追加し，eGFRで腎機能を評価する。対象者は，当概年度の特定健診の結果等で，血圧又は血糖検査が保健指導判定値以上の者のうち，医師が必要と認めるものとする。

②心電図検査

対象者は，当該年度の特定健診の結果等で，血圧が受診勧奨判定値以上の者又は問

診等で不整脈が疑われる者のうち，医師が必要と認めるものとする。

③眼底検査

対象者は，原則として当該年度の特定健診の結果等で，血圧又は血糖検査が受診勧奨判定値以上の者のうち，医師が必要と認めるものとする。

⑶標準的な質問票

生活習慣の改善に関する歯科口腔保健の取組みの端緒となる質問項目を追加する。

特定保健指導の実施方法

⑴行動計画の実績評価の時期の見直し

行動計画の実績評価を３か月経過後に行うことを可能とする。

⑵初回面接と実績評価の同一機関要件の廃止

保険者と委託先間で適切に情報が共有され，保険者が特定保健指導の総括及び管理を行う場合は，初回面接と実績評価を行う者が同一機関であることを要しないこととする。

⑶特定健診当日に初回面接を開始するための運用方法の改善

①健診結果が揃わない場合の初回面接の分割実施

検査結果が判明しない場合，健診受診当日に腹囲，体重，血圧，喫煙率等の状況から対象と見込まれる者に対して初回面接を行い，行動計画を暫定的に作成し，後日全ての項目の結果から医師が総合的な判断を行い，専門職が本人と行動計画を完成する方法を可能とする。

②特定健診当日に初回面接を行う場合の集合契約の整備

特定保健指導対象者となったもの全員（①を含む）に保健指導を実施すると決めた医療保険者のグループと，特定健診受診当日に特定保健指導を実施できる実施機関のグループとで集合契約が締結できるよう，共通ルールを整理する。

⑷特定保健指導の実施方法の弾力化

①２年連続して積極的支援に該当した者への２年目の特定保健指導の弾力化

２年連続して積極的支援に該当した者のうち，１年目に比べ２年目の状態が改善している者について，２年目の積極的支援は動機付け支援相当の支援を実施した場合でも，特定保健指導を実施したと位置づける。

②積極的支援対象者に対する柔軟な運用による特定保健指導のモデル実施

積極的支援対象者に対する３か月以上の継続的な支援におけるポイントや新たな指標の検証を行うために，柔軟な方法による特定保健指導のモデル実施を行う。

⑸情報通信技術を活用した初回面接（遠隔面接）の推進

遠隔面接の効果検証のための実施計画の事前届出を廃止し，遠隔面接を導入しやすくする。

⑹医療機関との適切な連携

診療における検査データを本人同意のもとで特定健診結果のデータとして活用できるようルールを整備する。

特定健診当日に初回面接を行うことは，受診者にとって利便性が良いだけでなく，意識が高まっている時に働きかけることで実施率の向上が期待される。

全体討論の後，今村日医副会長が「地域医療においては，かかりつけ医と地域医師会の連携が不可欠であり，より一層の連携強化をお願いしたい」と総括し，閉会した。

出席者－金丸常任理事，久永課長，畠中主事

宮崎県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿（医科）

（任期　平成29年６月１日～31年５月31日）

（○印は新任）

科名	氏名	科名	氏名
内科	石川　正	外科	岩村威志
〃	大岐照彦	〃	呉屋朝和
〃	大西雄二	〃	下薗孝司
〃	岡留敏秀	〃	白尾一定
〃（放射）	杜若陽祐	〃	坪内斉志
〃（東洋）	○河野清秀	〃	福元廣次
内科	栗林忠信	〃	元村祐三
〃	作　直彦	〃	吉松正明
〃	澤野文俊	整形外科	川越正一
〃	塩見一剛	〃	川野啓一郎
〃	中津留邦展	〃	濱中秀昭
〃	名越敏郎	皮膚科	天野正宏
〃	南　寛之	〃	田尻明彦
〃	比嘉利信	泌尿器科	福田聡一郎
〃	松岡　均	〃	南口尚紀
〃	村田光宏	産婦人科	神尊敏彦
〃	山口哲朗	〃	嶋本富博
〃	山中篤志	〃	肥後貴史
精神科	鮫島哲郎	眼科	出水誠二
〃	谷口　浩	〃	森山重人
小児科	○此元隆雄	耳鼻咽喉科	高木誠治
〃	髙木純一	〃	外山勝浩

五十音順

日医インターネットニュースから

■医療の消費税「18年度税制改正で結論」
－厚労省・税制改正要望－

厚生労働省は８月25日，2018年度税制改正要望を公表した。医療における消費税の在り方について「18年度税制改正に際し，総合的に検討し結論を得る」と盛り込んだ。消費税問題が抜本的に解決されるまでの間「都道府県で策定された医療計画などに役立つ固定資産を医療機関などが取得した場合」の税制上の特例措置の創設も求める。

医療の消費税問題は昨年12月の税制改正大綱で，税率が10％に引き上げられるまでに結論を得る旨が書き込まれた。それを踏まえ税制改正要望でも検討を求める。

●個人開設の医療機関の相続税猶予

個人開設の医療機関が，多額の相続税を理由に事業の承継が困難になるケースを避けるための税制措置の創設を新規事項として要望する。相続が生じた場合に，当該診療所（病院）を５年間継続して運営することを要件に，医療に必要な資産額に相当する相続税額を猶予・免除する。医療過疎地域では，個人開設の医療機関が地域医療に大きな役割を果たしていることがあるため。医療に必要な資産には「診療所（病院）のための土地・建物，一定の医療機器」などが該当する。

社会医療法人と特定医療法人の認定要件の見直しも求める。どちらも全収入のうち，社会保険診療収入などの割合が80％を超えることが認定要件になっているが，この「社会保険診療収入など」に，社会医療法人は介護保険法の保険給付と予防接種による収入を加える。特定医療法人は，介護保険給付と予防接種に加え，助産の収入も含めることを要望する。医療法人が介護事業に進出し，介護事業のウエートが高まって80％要件を満たせなくなるような事態を避ける。予防接種事業の拡大にも期待する。

健康・医療に関する要望ではそのほか，▽健康サポート薬局に関する税制措置の延長▽受動喫煙防止対策に伴う税制上の措置―がある。

（平成29年８月29日）

■報告増えない背景「報告の判断基準」
－医療事故調・運営委－

日本医療安全調査機構は８月30日，「医療事故調査・支援事業運営委員会」を開き，医療事故調査制度の現況について議論した。事務局が報告した医療事故報告件数の推移について，委員から「制度開始からあと１か月で２年だが，報告件数が１年目から増えていない。報告するかどうかの判断基準に問題があるのではないか」という意見が出た。別の委員からも「病院は報告の基準について，すごく迷っている」という声が上がるなど，報告件数が伸びない背景に判断基準への迷いがあることが浮かび上がった。

医療事故調査制度は2015年10月に始まった。最初の１年間に，医療事故調査・支援センターに報告された医療事故の件数は388件。２年目もおおよそ毎月30件程度の報告にとどまっている。

永井裕之委員（患者の視点で医療安全を考える連絡協議会代表）は「一番残念なのは，１年目の報告件数と比べて２年目が増えていないこと。現場では判断基準が理解されているのだろうか」と問題意識を示した。

事務局は「もう少し右肩上がりになるかと思っていたが，なかなか期待通りにいかない。しかし，われわれが報告を増やすように勧奨することは許されていない。研修での議論などを通じ，（迷わないように）判断基準をそろえていきたい。広報もこれまでは比較的慎重なスタンスでやっていたが，ポスターやリーフレットを少しずつ改善する」と答えた。

上野道雄委員（福岡県医師会副会長，国立病院機構福岡東医療センター院長）は「研修会で講師をしているが，報告すべきかどうかの基準に病院はすごく迷っている。心の中には報告したくないという姿勢が見え隠れしている」と指摘。その上で「この報告制度は，医療者にとって非常にありがたい制度だという本当の意味を管理者が実感したら，徐々に増えていくと信じている」と述べ，制度の趣旨の理解の重要性に言及した。

（平成29年９月１日）

■18年度改定の基本方針策定へ議論開始
－医療保険部会－

社会保障審議会・医療保険部会(部会長＝遠藤久夫・国立社会保障・人口問題研究所長)は９月６日，2018年度診療報酬改定の基本方針策定に向けた議論を開始した。　厚生労働省はこれまでの中医協での議論や「経済財政運営と改革の基本方針2017(骨太の方針2017)」などを踏まえ，基本認識や基本的視点，具体的な方向性の例を示し，委員から意見を求めた。12月ごろまでに基本方針を取りまとめる。

基本方針はこれまでの改定と同様に「改定に当たっての基本認識」と「改定の基本的視点と具体的方向性」で構成する。厚労省は改定に当たっての基本認識の例として▽健康寿命の延伸，人生100年時代を見据えた社会の実現▽どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現(地域包括ケアシステムの構築)▽医療・介護現場の新たな働き方の実現，制度に対する納得感の向上―の３点を掲げた。改定の基本的視点の例には▽地域包括ケアシステムの推進と医療機能分化・強化，連携▽新しいニーズにも対応できる安心・安全で質の高い医療を実現・充実する▽医療従事者の負担を軽減し，働き方改革を推進する▽効率化・適正化を通じて制度の安定性・持続可能性を高める―の４項目を据えた。

地域包括ケアシステムの推進などの視点では，介護報酬との同時改定であることを踏まえ，希望に応じた看取りの推進や医療介護連携などを具体的な方向性として盛り込んだ。安心・安全で質の高い医療の視点では，アウトカムに着目した評価の推進や小児医療，周産期医療，救急医療の充実などを示した。働き方改革を推進する視点では，チーム医療の推進(タスクシェア，タスクシフト等)，遠隔診療も含めたICT等の活用などを，制度の安定性・持続可能性を高める視点では，薬価制度の抜本改革の推進や費用対効果評価などを取り入れた。

議論では，日医の松原謙二副会長が遠隔診療の定義が明確にされていないと指摘し，明確にした上で議論するよう求めた。加えて，かかりつけ医らの評価に当たっては人を評価するのではなく，かかりつけ機能を評価するよう要望した。武久洋三委員(日本慢性期医療協会長)は，基本認識の例として示された「どこに住んでいても」という視点は極めて重要と強調。過疎化が進む地域などでは医師の確保が困難になっているとし，医師配置を診療報酬で誘導することも検討するべきだと主張した。

部会では厚労省が18年度予算の概算要求と審査支払機関・データヘルス改革についても報告した。　(平成29年９月８日)

■15年度国民医療費，42兆3644億円
－厚労省－

厚生労働省は９月13日，2015年度の国民医療費の概況を公表した。総額は42兆3,644億円(前年度比3.8％増)で９年連続で増加した。厚労省は伸び率の要因について，高齢化が1.0％分，人口増減の影響がマイナス0.1％分，医療の高度化などの影響が2.9％分と分析している。国民１人当たり医療費は33万3,300円(１万2,200円増，3.8％増)だった。

診療種類別で見ると，医科診療医療費30兆461億円(2.7％増)，歯科診療医療費２兆8,294億円(1.4％増)，薬局調剤医療費７兆9,831億円(9.6％増)。薬局調剤医療費の伸びはC型肝炎などの高額薬剤が要因とみられる。

医科診療医療費のうち，入院医療費は15兆5,752億円(2.0％増)，入院外医療費は14兆4,709億円(3.5％増)。入院医療費を病院・一般診療所別に見ると，病院は15兆1,772億円(2.2％増)，一般診療所は3,980億円(4.3％減)。入院外医療費を病院・一般診療所別に見ると，病院は６兆88億円(5.5％増)，一般診療所は８兆4,622億円(2.1％増)だった。

(平成29年９月15日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。
日本医師会(http://www.med.or.jp/)＞メンバーズ＞日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザーID：会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)
◆パスワード：生年月日の「西暦２桁，月２桁，日２桁」の６桁の数字(半角)

医師国保組合だより

医師国保組合　保健事業のご案内

医師国保組合では，下記の保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成30年３月末日までです。ぜひご利用ください。

１．健康診断

対　象　者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員，高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち，本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※自院で実施されても請求できますので「健康診断個人票」により申請してください。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し，子宮頸がん検診，内視鏡検査は実施できません。 （予約は当組合にお電話ください） ①実 施 日： 平成30年１月21日（第３日曜日），２月４日（第１日曜日） ２月18日（第３日曜日），３月４日（第１日曜日） ②定　　員：各30名
検査項目	血液生化学検査，肝機能検査，血糖検査，尿検査，心電図検査，貧血検査，胸部Ｘ線検査，便潜血検査，腹部超音波検査他，詳細は「健康診断個人票」にてご確認ください。

２．胃・大腸内視鏡検査の補助

対　象　者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です（健康診断対象者と同様）。 ①組合員，高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち，本年度中に満40歳になる方～74歳の方
検査内容・補助金額	①胃内視鏡検査　　15,280円 ②大腸内視鏡検査　21,790円 ※それぞれ１人１回，上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により，組合に申請してください。

３．脳ドック等の補助

対　象　者	被保険者全員（組合員とその世帯に属する方）並びに高齢組合員
検査内容・補助金額	頭部MRI，頭部MRA，頭部CT等　20,000円 ※１人１回，上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により，組合に申請してください。

４．肺炎球菌ワクチン接種補助

対　象　者	被保険者全員（組合員とその世帯に属する方）並びに高齢組合員
補助金額	１人 5,000円 ※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担となります。
請求方法	支給申請書により，組合に申請してください。

５．インフルエンザワクチン接種補助

対　象　者	被保険者全員（組合員とその世帯に属する方）並びに高齢組合員
補助金額	１人１回 2,000円（高齢組合員は1,000円）
請求方法	支給申請書により，組合に申請してください。

6．低線量ヘリカルCT肺がん検診

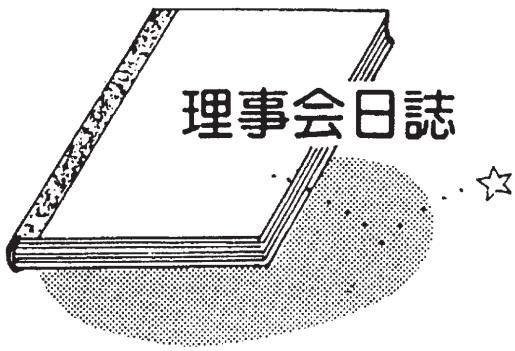
対　象　者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
実施機関	組合にて委託している県内34医療機関(平成29年９月末現在) ①宮崎 (医)敬愛会稲倉医院，(医)社団康仁会猪島医院， (医)将優会クリニックうしたに，古賀駅前クリニック健診センター， (医)耕和会迫田病院，(医)清涼会竹迫医院，天満橋中央クリニック， (医)春光会なかしま外科・内科，(一財)弘潤会野崎病院，(医)薩典会橘口医院， (一社)藤元メディカルシステム藤元中央病院付属総合健診センター， (医)エフエムシー福井医院，宮崎県健康づくり協会(水曜か木曜の午後)， (医)陽明会増田病院，(医)社団順養会海老原病院， (医)慶明会けいめい記念病院 ②都城 (医)清和会共立医院，(医)啓仁会城南病院，(医)清陵会隅病院 ③延岡 (医)社団嘉祥会岡村病院，(医)健寿会黒木病院 ④日向 (社医)泉和会千代田病院，(医)くろき胃腸科，(医)ふくろう会森迫胃腸科内科 ⑤児湯 (医)宏仁会海老原総合病院，(医)春光会高鍋春光会病院 ⑥西都 (医)社団大和会大塚病院 ⑦西諸 (医)養気会池井病院，(医)けんゆう会園田病院，よしむら循環器内科クリニック， (医)連理会和田クリニック，(医)えびのセントロクリニック， (医)武雄会えびの第一クリニック，(医)豊寿会川井田医院
申　込・受診方法	①医療機関へ受診の予約をしてください。 ②検診当日は，受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。 ※自己負担はございません。

7．歯科健康診査

対　象　者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方) 並びに高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院
健診内容	＊ＡまたはＢコースをお選びいただけます(健診のみ実施も可)。 Ａコース　歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング Ｂコース　歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング＋フッ素塗布 ※歯科健診の項目…歯の状況，歯周病，補綴の状況，顎関節，アフタ，口腔粘膜疾患等 ※歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。
申　込・受診方法	①組合員宛にお送りしている申込書に記入の上，組合宛にファックスしてください。無料券，歯科健康診査票(３枚複写)，質問票，結果票を人数分送付します。 ②歯科医院へ受診の予約をしてください。 ＊宮崎県歯科医師会の会員であるかを必ずご確認ください。 ③健診当日は，無料券，歯科健康診査票(３枚複写)，質問票，結果票，被保険者証を歯科医院へご持参ください。 ※自己負担はございません。

当組合のウェブサイトでも申請書はダウンロードできます。
http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/

問い合わせ先
宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目 101 番地　☎ 0985-22-6588　FAX 0985-27-6550



平成29年８月22日㈫第５回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．業務委託について

①妊娠等について悩まれている方のための相談援助業務の委託契約について

→児童虐待未然防止を目的に，養護教諭等を対象にした性教育研修会及び相談窓口の設置等を行う事業で，契約を締結することが承認された。

２．後援・共催名義等使用許可について

①９/16㈯（宮崎市民プラザ）世界アルツハイマーデー記念講演会名義後援のお願いについて

→「若年性認知症ご本人の居場所と就労を考える」をテーマに開催される講演会で，名義後援を行うことが承認された。

②10/29㈰（宮崎市保健所）平成29年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて

→ウイルス性肝炎及び肝がんを撲滅することを目的に「知っておきたい肝臓病の新知識」をテーマに開催される市民公開講座で，名義後援を行うことが承認された。

③スミセイウエルネスセミナーの名義後援のお願いについて

→病気（がん，認知症等）の予防や健康寿命の延伸をテーマに開催されるセミナーで，名義後援を行うことが承認された。

３．10/17㈫（県医）第１回各郡市医師会長協議会の開催について

都道府県医師会長協議会（９/19）の報告を中心に開催する協議会で，当日のスケジュール等の確認が行われ，郡市医師会に案内すると共に提出議題等を照会することが承認された。

４．９/14㈭（JA-AZM）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

４医療機関を対象に行われる個別指導で，川野理事を立会人として派遣することが承認された。

５．NBCR対策推進機構第３回「放射線テロ・放射線災害対策担当者養成講習会」の開催について

「救急・救命医・産業医及び放射線災害対策担当者が知っておくべきこと」を副題に開催される講習会で，佐々木（幸）常任理事が出席することが承認された。

６．平成29年度都道府県災害医療コーディネート研修受講者の推薦について

都道府県における災害医療コーディネータの活動に必要な統括・調整体制の知識の獲得及び当該体制の標準化を目的に開催される研修会で，佐々木（幸）常任理事を推薦することが承認された。

７．12/７㈭（日医）平成29年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

日医医賠責保険の経過報告や医事紛争に関する講演等が行われる協議会で，小牧常任理事が出席することが承認された。

8．11/18㈯(三重県)平成29年度第48回全国学校保健・学校医大会について

「輝ける未来を築くこどもたちのために～今，学校医ができること～」をメインテーマに開催される大会で，河野会長，富田副会長，髙村常任理事が出席することが承認された。

9．11/12㈰(西都市)平成29年度県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される大会で，開催地の西都市西児湯医師会に人選を依頼することが承認された。

10. 10/29㈰(西都市)平成29年度県高等学校総合体育大会男子第70回・女子第32回県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される大会で，開催地の西都市西児湯医師会に人選を依頼することが承認された。

(報告事項)

1．8／9㈬(支払基金)支払基金幹事会について

2．保険医療機関等の診療科別平均点数の公開について

3．8/10㈭(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について

4．8/14㈪(県医)地域医療構想調整会議の進め方に関する協議会について

5．8/10㈭(県医)県認知症疾患医療センター選考委員会について

6．8/12㈯(県医)県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会について

7．8/19㈯(県医)産業医研修会(前期)について

8．8/19㈯(県医)学校医部会総会・医学会について

9．7/21㈮(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

10. 7/21㈮(県医)労災部会自賠委員会について

11. 7/21㈮(県医)損害保険医療協議会について

12. 7/26㈬(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

13. 8/19㈯・20㈰(熊本)中四九地区医師会看護学校協議会について

14.「新卒訪問看護師育成スタートアップ標準プログラム」について

15. 8／9㈬～13㈰(県立美術館)第18回宮崎県医師会医家芸術展について

16. 8/17㈭(県医)勤務医委員会について

17. 7/25㈫(宮大医学部)県ドクターヘリ運航調整委員会について

18. 7/27㈭(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

19. 7/13㈭(日南)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

20. 7/26㈬(県庁)県自殺対策推進協議会について

21. その他

①９／２㈯(県医師会館)平成29年度宮崎県医師会医学会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1．7/25㈫(県医)医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1．9／6㈬(宮観ホテル)三師会懇談会の開催について

県歯科医師会の担当で開催される懇談会で，河野会長，富田・濱田副会長，立元・吉田・小牧常任理事が出席することが承認された。

（報告事項）

1．8/10㈭（宮観ホテル）公明党県本部政策要望懇談会について

平成29年８月29日㈫第14回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1．後援・共催名義等使用許可について

①10/15㈰（県総合保健センター）運動器の10年　市民公開講座～ひむか骨と関節を考える会～の名義後援について

→「動く喜び，動ける幸せ」を副題に，運動器の仕組みや障害及びその予防について理解を深めることを目的に開催される市民公開講座で，名義後援を行うことが承認された。

2．「九州医師会連合会平成29年度第１回各種協議会」の提案事項に対する回答について

九州各県医師会から出された提案事項に対する回答依頼で，地域医療対策（地域医療構想，新専門医制度含む）は池井常任理事，医療保険対策は小牧常任理事，介護保険（在宅医療・地域包括ケア含む）は金丸常任理事が中心となって回答の取りまとめを行うことが承認された。

3．会費減免申請について

高齢による３名の会費減免（日医のみ２名，県医師会のみ１名）が承認された。

4．平成29年度「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」－よりよい男女共同参画を目指して－の開催について

男女共同参画に対する日医の取組みの周知と各大学，各学会の情報交換を目的に開催される連絡会で，荒木常任理事と金丸常任理事が出席することが承認された。

5．業務委託について

①平成29年度女性医師等就労支援事業に関する業務の委託契約について

→女性医師等が仕事と家庭の両立を図り，医師として働き続けられる環境作りを支援することで，本県の医師確保に繋げることを目的に行われる事業で，契約を締結することが承認された。

6．９・10月の行事予定について

９月の追加行事について確認が行われた。

（報告事項）

1．8/26㈯（福岡）九医連常任委員会について

2．8/29㈫（県医）古川衆議院議員への要望等について

3．平成29年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る国庫内示について

4．8/23㈬（県庁）性暴力被害者支援連絡協議会について

5．8/26㈯（福岡）九医連定例委員総会について

6．8/28㈪（宮観ホテル）損保ジャパン日本興亜との懇談会について

7．8/25㈮（県医）保育事業養成講座について

8．8/25㈮（県医）広報委員会について

9．8/25㈮（県医）認知症サポート医フォローアップ研修会について

10．8/26㈯（県医）在宅医療協議会役員会・在宅医療協議会総会・研修会について

医師連盟関係

（議決事項）

1．9/25㈪（東京）敬人会夕食勉強会のご案内について

今回は諸行事の関係で参加することができないため，協力を見送ることが承認された。

2．10/21㈰(都城)衆議院議員古川禎久第10回特別セミナーについて

「成熟国家日本における成長戦略－スポーツ立国－」と題し，自民党副幹事長の後藤田正純衆議院議員を講師に招き開催されるセミナーで，協力することが承認された。

(報告事項)

1．8/26㈯(福岡)九州医連連絡会執行委員会について

平成29年９月５日㈫第15回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1．後援・共催名義等使用許可について

①11/17㈮(宮日会館)「過労死等防止対策推進シンポジウム」名義後援の依頼について

→毎年11月の過労死等防止啓発月間に合わせ，過労死をゼロにし健康で充実して働き続けることのできる社会の実現を目指し開催されるシンポジウムで，名義後援を行うことが承認された。

2．平成29年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)協賛について

全ての子どもが健やかに育つ社会を実現するために開催される全国大会で，すでに名義後援を行うことが決定していることから，協賛についても協力することが承認された。

3．業務委託について

①医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について

→医療従事者の離職防止や定着促進等を図るために，計画的に勤務環境の改善に取り組む医療機関に対して総合的な支援を行う事業で，委託契約を締結することが承認された。

4．平成30年度地域医療介護総合確保基金(医療関係)について

県から事業区分Ⅰ(地域医療構想の達成に向けた事業〔医療機関の整備等を除く〕)に関する事業の提出依頼があり，各郡市医師会，各専門分科医会，県医師会病院部会，県精神科病院協会，県有床診療所協議会に対して，10月３日を締切りに照会することが承認された。

また，病床機能の転換等に必要となる施設及び設備の整備費用の一部を補助する「病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」に関して，医療機関の意向(募集)取りまとめを各郡市医師会に依頼することが重ねて承認された。

(報告事項)

1．８月末日現在の会員数について

2．8/30㈬(日医)日医学術推進会議について

3．8/30㈬(宮崎労働局)宮崎労働局との意見交換会について

4．8/31㈭(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会について

5．8/31㈭(県庁)県個人情報保護審議会について

6．9/1㈮(県庁)県周産期医療協議会について

7．9/2㈯(県医)県医師会医学会について

8．9/5㈫(県医)治験審査委員会について

9．9/1㈮(県医)医療勤務環境改善セミナーについて

10．8/31㈭(都城市)社会保険医療担当者の個別指導について

11．9/4㈪(県医)県臨床研修・専門研修運営協議会について

県医の動き

（９月）

1	医療勤務環境改善セミナー（会長他） 県周産期医療協議会（濱田副会長）
2	県医師会医学会（会長他） （佐賀）全国国保組合協会九州支部総会・研修会 （福岡）九州医師協同組合連合会理事会 （富田理事長）
4	みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議 （佐藤理事） 県有床診療所協議会４役会（川野理事） 県臨床研修・専門研修運営協議会（会長他）
5	宮大医学部医の倫理委員会（糸数理事） 治験審査委員会（富田副会長他） 第15回常任理事協議会（会長他）
6	（日医）日医救急災害医療対策委員会 （佐々木常任理事） 保育事業養成講座（荒木常任理事） 三師会懇談会（会長他）
7	（日向文化交流センター）労災診療費算定実務研修会（佐藤理事） 県地域医療対策協議会・県地域医療支援機構代表者会議（会長他） 日本整形外科スポーツ医学会学術集会晩餐会（会長） 健康教育委員会（濱田副会長他）
8	医学会誌編集委員会（濱田副会長他）
9	（京都）日本認知症グループホーム大会 （金丸常任理事） 保育支援事業スキルアップ研修会/全体顔合わせ会（荒木常任理事他） （延岡市中小企業センター）医師クラーク育成・スキルアップ研修会 県産婦人科医会秋期総会（濱田副会長他） 宮大医学部附属病院救命救急センター開所５周年記念祝賀会（会長）
10	（東京）放射線テロ・放射線災害対策担当者養成講習会（佐々木常任理事） （京都）日本認知症グループホーム大会 （金丸常任理事） 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 職員採用試験（二次）
11	県立病院事業評価委員会（会長）
12	第６回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会（会長他）
13	（東京）アジア大洋州医師会連合（CMAAO）東京総会（会長） 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会（荒木常任理事） 県産婦人科医会水子供養参拝（濱田副会長）
14	（東京）アジア大洋州医師会連合（CMAAO）東京総会（会長） 社会保険医療担当者の個別指導（川野理事） 広報委員会（富田副会長他） 県産婦人科医会常任理事会（濱田副会長他） 県産婦人科医会医療保険委員会
15	労災診療費算定実務研修会（川野理事） （日医）日医医療秘書認定試験委員会 （富田副会長）
16	産業医研修会（前期）（川野理事） （福岡）九州ブロック産婦人科医会会長会議 （濱田副会長）
17	九州山口薬学大会本会議（会長）
19	（日医）都道府県医師会長協議会（会長） 医協打合せ会（立元副理事長） 第16回常任理事協議会（富田副会長他） 医療事故調査支援委員会常任委員会 （富田副会長他）
20	土曜会（報道機関支局長の会）との意見交換会（会長他）
21	（東京）全国国保組合協会理事長・役員研修会（秦理事長） （日医）日医医療IT委員会（荒木常任理事）
22	広報委員会（荒木常任理事他）
23	医療メディエーター養成研修会基礎編 （立元副理事長） （日医）都道府県災害医療コーディネート研修（佐々木常任理事） （広島）全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・運営委員会（富田副会長他）
24	医療メディエーター養成研修会基礎編 （立元副理事長） （日医）都道府県災害医療コーディネート研修（佐々木常任理事） （熊本）熊本県医師会新会館内覧会（会長） （熊本）熊本県医師会新会館落成記念祝賀会 （会長）
25	医師国保組合理事会（秦理事長他）
26	県准看護師試験問題調整委員会 （立元常任理事） 宮大医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会（金丸常任理事） 医協理事会（富田理事長他） 宮大医学部５年生未来の医療を語り合う全員交流会（会長他） 第17回常任理事協議会（富田副会長他）
27	県国保運営協議会（佐藤理事） 労災診療指導委員会（川野理事他） 県産婦人科医会情報システム・広報委員会 （濱田副会長）
28	（日医）産業保健活動推進全国会議 （佐々木常任理事） 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 （池井常任理事） 社会保険医療担当者の集団的個別指導 （小牧常任理事）
29	（日医）大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会（荒木常任理事他） （日医）日医医療情報システム協議会運営委員会（富田副会長）
30	県有床診療所協議会総会・講演会（会長他）

医療勤務環境改善支援センターを

９月のベストセラー（宮崎県）

集計：2017年９月１日～９月25日

1	戦争と平和	百田尚樹	新潮社
2	恨み残さじ	佐伯泰英	双葉社
3	この世の春㊤㊦	宮部みゆき	新潮社
4	世界一美味しい煮卵の作り方	はらぺこグリズリー	光文社
5	多動力	堀江貴文	幻冬舎
6	三度目の殺人	是枝裕和	宝島社
7	未来の年表	河合雅司	講談社
8	今こそ，韓国に謝ろう	百田尚樹	飛鳥新社
9	いのち愛しむ，人生キッチン	奥田けい	幻冬舎
10	花咲舞が黙ってない	池井戸潤	中央公論

明林堂書店調べ　提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎（0985）56-0868

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

宮崎県医師会では，県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師（医師会員でなくても可）のお子様を対象に本会館１階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は，事前の予約が必要となりますので，ご希望の方は開催日の２週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先
宮崎県医師会
TEL　0985-22-5118
FAX　0985-27-6550
担当　畠中・久永

ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）　　平成29年９月14日現在

本会では，会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は，当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在，下記のとおりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み，お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また，宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

１．求職者登録数　　３人

１）男性医師求職登録数　　３人　　（人）

希望診療科目	求 職 数	常　勤	非 常 勤
内　　科	1	0	1
老　　健	2	1	1

２）女性医師求職登録数　　０人　　（人）

希望診療科目	求 職 数	常　勤	非 常 勤
	0	0	0

２．斡旋成立件数　59人　　（人）

	男性医師	女性医師	合　計
平　成　29　年　度	3	1	4
平成16年度から累計	43	16	59

３．求人登録　　95件　　334人　　（人）

募集診療科目	求人数	常　勤	非常勤
内　　科	117	88	29
外　　科	31	26	5
整　形　外　科	25	22	3
精　　神　　科	18	16	2
循　環　器　科	5	4	1
脳　神　経　外　科	12	9	3
消　化　器　内　科	12	9	3
麻　　酔　　科	10	8	2
眼　　科	6	5	1
放　射　線　科	10	9	1
小　　児　　科	1	0	1
呼　吸　器　内　科	11	10	1
リハビリテーション科	5	4	1
総合診療科・内科	7	6	1
神　経　内　科	7	6	1
救　命　救　急　科	7	7	0
健　　診	3	1	2
産　婦　人　科	1	1	0
泌　尿　器　科	1	0	1
検　　診	4	2	2
皮　　膚　　科	3	2	1
人　工　透　析	4	4	0
在　宅　担　当　医	1	1	0
そ　　の　　他	33	28	5
合　　計	334	268	66

求　人　登　録　者(公開)

※求人情報は，申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合，無料職業紹介所(ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は，公開について同意をいただいております。

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医)ブレストピア ブレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外, 放, 内, 麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精, 内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内, 神内, 眼, 総診, 呼外, 病理, 乳外, 整外, 麻	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内, 内泌糖内, 呼内, リウ, 神内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内, 放, 在宅	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内, 神内, 整, 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	内(緩和), 消内, 呼内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	総内, 内視鏡	6	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内, 整, リハ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内, 精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内, 外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内, 呼内, 消内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内, 神内, 外, 整, 脳外, リハ, 麻, 救急, 緩和	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外, 形成外, 外, 麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮崎市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会 日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
230175	社会福祉法人 キャンバスの会	宮崎市	内, 小, 整	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内, 消内, 消外, 放(いずれか)	1	常勤・非常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内, 糖内, 呼内, 血内	4	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内, 消内, 整, 神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内, 救急, 放, 脳外, 外, 眼, 透内, 皮	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	内, 呼内, 総診	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内, 呼内	6	常勤
210114	藤元病院	都城市	精, 内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	外 , 内 , 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都城市	不問	1	常勤

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230137	医）宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医）魁成会 宮永病院	都城市	内，リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	内	1	非常勤
230157	医）一誠会 都城新生病院	都城市	精，内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都城市	内，透，循内，救急，放，病理，呼内，精	16	常勤
230172	医）静雄会 藤元上町病院	都城市	内	4	常勤・非常勤
230176	一社）藤元メディカルシステムグリーンホーム	三股町	内	1	常勤
230179	医）与州会 柳田クリニック	都城市	外	1	非常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医）恵心会 坂元医院	都城市	消内，老人内	2	非常勤
160012	医）伸和会 共立病院	延岡市	外，整，放，内	6	常勤
160021	医）建悠会 吉田病院	延岡市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医）健寿会 黒木病院	延岡市	外，内，緩和	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	内	1	常勤
200100	医）育生会 井上病院	延岡市	産婦，内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内，消外，内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内，小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延岡市	内	1	常勤
230156	医）中心会 野村病院	延岡市	内，外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延岡市	内	1	非常勤
160039	医）誠和会 和田病院	日向市	外，内，整，神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内，整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内，整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内，放，外	3	常勤
160023	医）宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内，腎内，麻，総診，外，整，脳外，眼，健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高鍋町	内	1	常勤
160024	医）隆徳会 鶴田病院	西都市	内，外	2	常勤
150002	医）慶明会 おび中央病院	日南市	内，外，整	4	常勤・非常勤
150003	医）同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医）愛鍼会 山元病院	日南市	内	2	常勤
160037	医）十善会 県南病院	串間市	精，内（いずれか）	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内，外，整，リハ，在宅	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内，外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日南市	内	2	常勤・非常勤
230166	医）秀英会 英医院	串間市	内	1	常勤
230168	医）月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230182	串間市市木診療所	串間市	総診，内（いずれか）	1	常勤
160019	医）相愛会 桑原記念病院	小林市	内，皮	4	常勤・非常勤
170043	医）和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急，総診，放	5	常勤
180076	医）友愛会 園田病院	小林市	外，循内，整，脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医）浩然会 内村病院	小林市	精，内	3	常勤
190091	医）友愛会 野尻中央病院	小林市	整，内	4	常勤・非常勤
230155	医）三和会 池田病院	小林市	脳外，内，放，外，リハ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医）連理会 和田クリニック	小林市	内	2	常勤
230173	医）高千穂会 大森内科	小林市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内，外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内，透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内，整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成29年９月14日現在

１．譲渡物件	①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 (医)崧雲会 林クリニック
	②西都市中央町２丁目６番地 土地：　2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根３階建 １階　674.74㎡ ２階　547.79㎡ ３階　177.95㎡ 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③宮崎市曽師町213-3 土地：　234.74㎡(71.13坪) 建物：鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺２階建 １階　96.25㎡ ２階　97.75㎡ 194㎡(58.78坪) ※駐車場あり（５台）	所有者：宮崎市郡医師会員 岩下内科クリニック
２．譲渡又は賃貸物件	①小林市南西方49番地１ 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根２階建 １階　471.41㎡ ２階　638.35㎡ 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：西諸医師会員 (医)社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	②日向市鶴町２丁目９番15号 土地：792㎡(240坪) 建物：RC造　鉄骨造 １階　237.49㎡ ２階　338.25㎡ ３階　338.25㎡ 913.99㎡(276.96坪) ※別途駐車場あり(10台)	所有者：日向市東臼杵郡医師会員 三ヶ尻整形外科跡
３．賃貸物件	①延岡市無鹿町１町目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根４階建 １階　145.76㎡ ２階　338.70㎡ ３階　330.69㎡ ４階　14.25㎡ 829.40㎡(251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：延岡市医師会員 医)社団 隆豊会 江崎医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

１．取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
２．紹介受付は，月～金の９時～12時及び13時～17時です。
３．申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
４．ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
５．求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
６．斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先　**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原１丁目101番地（宮崎県医師協同組合）
TEL 0985-23-9100㈹ ・FAX 0985-23-9179
E-mail：isikyou@ miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E－Mail：genko@miyazaki.med.or.jp

FAX：0985－27－6550

TEL：0985－22－5118

きりとりせん

日州医事では，読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や，読みたい記事のご提案など，忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお，いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は，このページを切り取り，

裏面の用紙をご利用ください。

宮崎県医師会広報委員会 行　FAX: 0985-27-6550

お名前：

ご所属：

ＴＥＬ：　ＦＡＸ：

きりとりせん

宮崎県医師会行事予定表

平成29年 9 月26日

10 月

1	日		
2	月	19：00	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会
3	火	18：20 18：45 19：00	県医連常任執行委員会 県医連執行委員会 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会
4	水	10：00	(日医)日医社保指導者講習会
5	木	10：00 15：00 15：00	(日医)日医社保指導者講習会 (日医)日医公衆衛生委員会 県医療計画策定委員会
6	金	14：00 19：00	(日医)日医勤務医委員会 医療現場のワークライフバランスセミナー
7	土	14：00 15：00 17：00	(日医)日医総研セミナー「生命倫理について－終末期を迎えるにあたって－」 県警察医会総会・特別講演会 日本臨床内科医学会・理事会・代議員会
8	日	８：50	日本臨床内科医学会・理事会・代議員会
9	月	(体育の日) ９：00	日本臨床内科医学会・理事会・代議員会
10	火	18：00 19：00	治験審査委員会 第18回常任理事協議会
11	水	16：00 19：00	支払基金幹事会 健康スポーツ医学委員会
12	木	15：30 19：30	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 県産婦人科医会常任理事会
13	金	19：00	羽生田参議院議員との意見交換会
14	土		
15	日	14：00	県小児科医会秋季学術講演会
16	月	19：00	専門医共通講習会「医療倫理・感染対策」(TV会議)
17	火	18：30 終了後 19：20	第７回全理事協議会 医協理事・運営委員合同協議会 各郡市医師会長協議会
18	水	14：00 14：00	(日医)都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会(日医TV会議)
19	木	13：30	県障害者施策推進協議会
20	金	12：15 13：40	全国医師国保組合連合会代表者会 全国医師国保組合連合会全体協議会
21	土	10：00 13：00 13：30 14：00 14：30 15：00 16：30	全国医師会勤務医部会連絡協議会 日本産婦人科医会地域代表者会 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会設立15周年記念講演会 産業医研修会(実地) 九州各県内科医会連絡協議会及び九州各県内科審査委員懇話会等 九州医師協同組合連合会通常総会
22	日	８：30 ９：00 14：00	九州医師協同組合連合会通常総会 日本産婦人科医会学術集会 宮崎から医師をめざそう！フォーラム
23	月	16：00 19：00	県ロコモティブシンドローム対策協議会 広報委員会
24	火	18：15 19：00	医協理事会 第19回常任理事協議会
25	水		
26	木	15：00	労災診療指導委員会
27	金	16：00 17：00 19：00	九医連常任委員会 九医連臨時委員総会 県内科医会学術委員会
28	土	９：00 11：30 13：00 16：30	九医連第１回各種協議会 九医連各種協議会報告会 九州医師会総会・医学会 病院部会・医療法人部会合同研修会
29	日		九医学分科会・記念行事
30	月	19：00 19：00 19：00	県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針に係る説明会(TV会議) 勤務医部会理事会 医師国保組合理事会
31	火		

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

平成29年 9 月26日

11 月

1	水	13：00	（日医）日医設立記念医学大会
		15：30	県健康づくり推進協議会
2	木	19：00	介護保険委員会
3	金		（文化の日）
		８：30	県医親善ゴルフ大会
4	土		全国医師協同組合通常総会
		16：00	県整形外科医会研修会
5	日	14：00	おくすりについての市民公開講座
6	月	18：30	県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会（三者協議会）
7	火	18：00	治験審査委員会
		19：00	第20回常任理事協議会
8	水	15：00	（日医）日医医療秘書認定試験委員会
		16：00	支払基金幹事会
9	木	19：30	県産婦人科医会常任理事会
10	金	15：00	（日医）日医予防接種・感染症危機管理対策委員会
		18：30	宮崎銀行との懇談会
11	土	８：00	県産婦人科医会ALSOプロバイダーコースin宮崎
12	日	８：00	県産婦人科医会ALSOプロバイダーコースin宮崎
13	月	19：00	医療安全対策セミナー（TV会議）
		19：00	県内科医会会誌編集委員会
14	火	18：30	第８回全理事協議会
		19：20	県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会
15	水	14：00	（日医）日医救急災害医療対策委員会
16	木	13：30	県高齢者サービス総合調整推進会議
		14：00	労災診療費算定実務研修会
		19：00	広報委員会
		19：00	自殺対策うつ病研修会（TV会議）
17	金	19：00	県外科医会秋期講演会
18	土		日本産婦人科医会九州ブロック協議会
		10：00	全国学校保健・学校医大会
		14：30	産業医研修会（TV会議）
19	日		日本産婦人科医会九州ブロック協議会
		13：30	世界糖尿病デー市民公開講座
20	月		
21	火	19：00	第21回常任理事協議会
22	水		
23	木		（勤労感謝の日）
24	金	19：00	広報委員会
		19：00	県感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会
25	土	９：00	ICLS指導者養成ワークショップ
		15：00	九州学校検診協議会専門委員会
		17：00	九州各県医師会学校保健担当理事者会
26	日	８：30	ACLS研修会
27	月	19：00	生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（TV会議）
28	火	19：00	第22回常任理事協議会
29	水	15：00	労災診療指導委員会
		15：00	（日医）日医公衆衛生委員会
30	木	15：00	（日医）日医医療IT委員会
		19：00	認知症サポート医フォローアップ研修会（TV会議）

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医　学　会　・　講　演　会
日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，**ＣＣ**：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）
がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（㊐胃・大腸・肺・乳）
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第19回南那珂感染対策セミナー 10月３日㈫ 18：30～19：30 県立日南病院	**院内感染対策** **－患者さんと医療スタッフを守るために－** 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学分野講師　髙城　一郎	8 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県立日南病院 ☎0987-23-3111 ◇共催 大日本住友製薬㈱ ◇後援 南那珂医師会
ストップ！NO卒中プロジェクトエリア会議 10月５日㈭ 19：00～20：20 宮崎観光ホテル	**脳卒中の併存疾患と対策** 長崎大学病院脳神経内科教授　辻野　彰	12 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 日本脳卒中協会 ◇共催 宮崎県内科医会 宮崎県病院薬剤師会 ※ファイザー㈱ ☎092-281-7031
都城市北諸県郡医師会外科医会学術講演会 10月５日㈭ 19：00～20：10 都城ロイヤルホテル	**私の肝胆膵手術－ビデオ集－** 宮崎大学医学部外科学講座 肝胆膵外科学分野教授　七島　篤志	7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会外科医会 ◇共催 科研製薬㈱ （連絡先） 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

名称・日時・場所	演題	CC(単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業医研修会 10月６日㈮ 19：00～21：00 都城市北諸県郡医師会館	**有害物のリスクアセスメントについて** 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント　下津　義博 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
医療現場のワークライフバランスセミナー 10月６日㈮ 19：00～20：30 県医師会館	**男女共同参画を病院経営に活かす** 大同病院理事長　吉川　公章	7 (0.5) 10 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働きやすい環境を考える会 宮崎県医療勤務環境改善支援センター
南那珂医師会生涯教育医学会 10月６日㈮ 19：00～20：15 南那珂医師会館	**高齢者の運動器慢性疼痛治療** **－高齢者特有の問題から考える治療戦略－** 久留米大学医学部整形外科学教室講師　山田　圭	19 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 ヤンセンファーマ㈱ 持田製薬㈱
延岡医学会学術講演会 10月６日㈮ 19：00～20：15 ホテルメリージュ延岡	**パーキンソン病の病態から見た治療と医療連携** 福岡大学医学部神経内科学教授　坪井　義夫	19 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 エフピー㈱ ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演題	CC(単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第25回宮崎県警察医会総会・特別講演会 10月７日(土) 15：30～17：00 県医師会館	**自動車事故に特徴的な損傷とその形成メカニズムについて** 鹿児島大学医歯学総合研究科法医学分野教授 小片　守	1 (0.5) 57 (1.0)	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県変形性関節症を考える会 10月10日(火) 19：30～20：30 宮崎観光ホテル	**変形性関節症治療：国内外のガイドラインとパラダイムシフト** JCHO東京新宿メディカルセンター 脊椎脊髄センター長　川口　浩	61 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎県変形性関節症を考える会 ◇共催 ※日本イーライリリー㈱ ☎092-724-0450 塩野義製薬㈱
第119回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 10月11日(水) 18：50～20：30 宮崎観光ホテル	**革新する心不全治療** 佐賀大学医学部循環器内科教授　野出　孝一	24 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 日本メドトロニック㈱ 興和創薬㈱ (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
第60回宮崎県耳鼻咽喉科懇話会臨床セミナー 10月12日(木) 19：00～20：30 MRT-micc 参加費：1,000円	**ポストワクチン時代の急性中耳炎の変化** 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科学講座教授 保富　宗城	8 (1.0)	◇主催 宮崎県耳鼻咽喉科懇話会 ◇共催 ※富士フィルムファーマ㈱ ☎0120-121210 ◇後援 日本耳鼻咽喉科学会宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会

名称・日時・場所	演　　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
宮崎地域医療を考える会 10月12日㈭ 19：00～20：45 MRT-micc	**認知症における診断と治療** 伊敷病院長　植村　健吾	80 (0.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 ◇共催 ※武田薬品工業㈱ ☎0985-24-6763
	地域包括ケアの課題と今後の展望 **－柏モデルに関して－** 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授　辻　哲夫	13 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月12日㈭ 19：00～21：00 県医師会館	**健康診断結果に基づく検討　事後措置の事例検討** 産業保健相談員 宮崎県立看護大学教授　江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講演会 10月13日㈮ 19：00～20：30 ホテルメリージュ延岡	**残存リスクを考慮した脂質異常症の新たな治療戦略** 熊本大学生命科学研究部代謝内科学分野講師 松村　剛	75 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 興和創薬㈱ 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第４回宮崎臨床整形外科セミナー 10月13日㈮ 19：15～20：30 宮崎観光ホテル	**運動器疼痛に対する運動療法と薬物療法** 佐賀大学医学部附属病院整形外科学教室准教授 園畑　素樹	60 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県臨床整形外科医会 ◇共催 持田製薬㈱ ※ヤンセンファーマ㈱ ☎090-6790-7246

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第55回日本糖尿病学会九州地方会 10月13日(金) 9：10～18：30 10月14日(土) 8：45～17：50 シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 参加費：10,000円 (2日間)	(1日目　9：45～11：35) **シンポジウム1** **糖尿病研究の革新的展開** 琉球大学医学研究科先進ゲノム検査医学講座 准教授　今村　美菜子 **他**	3 (1.0) 76 (0.5)	◇主催 第55回日本糖尿病学会九州地方会 (連絡先) ㈱コンベンションリンケージ福岡支社 ☎092-437-4188
	(1日目　14：00～14：50) **次世代を視野に入れた医療情報の徹底活用** **－千年カルテプロジェクト－** 京都大学名誉教授 宮崎大学名誉教授　吉原　博幸	9 (0.5)	
	(1日目　14：00～15：50) **ワークショップ1** **多職種一丸となっての糖尿病ケア** 天理よろづ相談所病院医員　北谷　真子 **他**	5 (0.5) 10 (0.5) 15 (0.5)	
	(1日目　17：30　～18：30) **55回記念シンポジウム** **糖尿病診療は今，新たなるステージへ** 南昌江内科クリニック院長　南　昌江 他	4 (0.5) 12 (0.5) 76 (0.5)	
	(2日目　8：45～10：45) **シンポジウム2** **糖尿病臨床の革新的展開** 九州大学医学研究院病態制御内科学センター長 前田　泰孝 他	15 (1.0) 76 (1.0)	

名称・日時・場所	演　　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
第55回日本糖尿病学会九州地方会 10月13日㈮ 9：10～18：25 10月14日㈯ 8：45～17：50 シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 参加費：10,000円 （2日間）	（2日目　10：55～11：45） **2型糖尿病の分子機構と治療戦略** 東京大学医学系研究科糖尿病・代謝内科教授 門脇　孝	76 (0.5)	◇主催 第55回日本糖尿病学会九州地方会 （連絡先） ㈱コンベンションリンケージ福岡支社 ☎092-437-4188
	（2日目　13：00～14：30） **シンポジウム3** **糖尿病と社会との関わり** あいち健康の森健康科学総合センター長 津下　一代 他	6 (1.0) 76 (0.5)	
	（2日目　14：35～16：05） **ワークショップ2** **輝け！女性糖尿病医** 潤和会記念病院内科　齋藤　幸枝 他	1 (1.0) 13 (0.5)	
第57回宮崎県スポーツ学会 10月14日㈯ 14：50～19：00 宮日会館 参加費：1,000円	**皮膚テーピングと身体運動** 文京学院大学保健医療科学研究科教授　福井　勉	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬㈱ ◇後援 宮崎県医師会 （連絡先） 宮崎大学医学部整形外科学教室 ☎0985-85-0986
	新しいかたちの運動器スポーツ障害治療 **－チーム医療とメディカルフィットネスの活用－** 早稲田大学スポーツ科学術院教授　熊井　司	10 (0.5) 12 (0.5)	
	発育期のスポーツとその功罪 中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科教授　馬場　礼三	11 (0.5) 72 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
平成29年度第１回専門医共通講習会 **医療倫理・感染対策（TV会議）** 10月16日㈪ 19：00～21：05 県医師会館（TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵）（予定）	**【専門医共通講習－①医療倫理（必修）】** **医療倫理の基礎と実践** **－倫理的推論（ethical reasoning）のスキルを中心に－** 宮崎大学医学部社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授　板井　孝壱郎	2 (0.5) 3 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	【専門医共通講習－②感染対策（必修）】 **知っておきたい感染対策** 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学分野教授　岡山　昭彦	0 (0.5) 8 (0.5)	
宮崎市郡小児科医会・宮崎市郡産婦人科医会合同勉強会 10月17日㈫ 19：15～20：15 宮崎観光ホテル	**鹿児島における，ハイリスク新生児フォローアップの現状** 今給黎総合病院新生児内科部長　丸山　有子	12 (1.0)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 （連絡先） 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎市郡医師会10月例会並びにしののめ医学会特別講演会 10月18日㈬ 19：00～19：45 宮崎観光ホテル	**産業精神保健の動向と課題** 東邦大学名誉教授 勝田台メディカルクリニック院長　黒木　宣夫	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡心臓病カンファレンス 10月19日㈭ 19：00～21：00 県立延岡病院	**心臓大動脈手術に挑んだ20年** **－Real Heart teamを目指して－** 共立病院副院長　赤須　晃治	1 (0.5)	◇主催 延岡心臓病カンファレンス ◇共催 フクダ電子㈱ グッドウィル㈱ ◇後援 延岡市医師会 (連絡先) 宮崎県立延岡病院 ☎0982-32-6181
	診断が難しかったチアノーゼ性心疾患の１例 宮崎県立延岡病院循環器内科医長　黒木　一公	72 (0.5)	
	敗血症から心タンポナーデに至った１例 宮崎県立延岡病院循環器内科医長　安藤　誠	4 (0.5)	
	統合失調症の急性心不全の１例 宮崎県立延岡病院循環器内科副院長　小牧　聡一	68 (0.5)	
都城市北諸県郡医師会学術講演会 10月20日㈮ 19：00～20：30 都城市北諸県郡医師会館	**悪性腫瘍に対する陽子線治療** メディポリス医学研究所 メディポリス国際陽子線治療センター長 萩野　尚	0 (0.5) 9 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 メディポリス医学研究所
延岡医学会学術講演会 10月20日㈮ 19：00～20：20 ホテルメリージュ延岡	**抗血栓療法による消化管障害とその対策** **－PPI・DOACの役割は？－** 国立病院機構都城医療センター 消化器病センター医長　駒田　直人	50 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共㈱ ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演　題	CC(単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 10月20日㈮ 19：00～20：20 ホテルメリージュ延岡	**心房細動の最新治療** **－エドキサバンの有用性とアブレーションの進歩－** 福岡山王病院ハートリズムセンター長 国際医療福祉大学教授　熊谷　浩一郎	43 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共㈱ ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業医研修会 10月21日㈯ 14：30～16：30 県医師会館	**産業医におけるNBC災害・テロ対策** 宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野教授　落合　秀信 生涯研修の実地研修会：２単位	8 (0.5) 9 (0.5) 10 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第175回宮崎県眼科医会講習会 10月21日㈯ 16：20～19：10 宮崎観光ホテル 参加費：3,000円	**緑内障治療のためのOCTの使い方** 大阪大学医学系研究科眼科学講師　三木　篤也 **黄斑疾患手術治療の最近の動向** 聖マリアンナ医科大学眼科学教室教授　高木　均	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 (柴田眼科内) ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬㈱

名称・日時・場所	演題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
平成29年度延岡医学会総会 10月21日㈯ 16：30～19：30 延岡市医師会病院	**会員研究発表：延岡地域における肺癌診療の現況** 宮崎県立延岡病院呼吸器外科医長　能勢　直弘	18(0.5) 21(0.5) 22(0.5) 57(0.5)	◇主催 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	延岡で医師を育てる大作戦 **－医学教育改革と最新のエビデンス－** 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授 吉村　学	10(0.5) 15(0.5)	
宮崎県精神科診療所協会学術講演会 10月21日㈯ 18：50～20：00 KITEN	**明日からすぐに使える！せん妄の実践知識** 岡山大学病院精神科神経科助教　井上　真一郎	32(0.5) 68(0.5)	◇主催 宮崎県精神科診療所協会 ◇共催 MSD㈱ (連絡先) 細見クリニック ☎0985-35-1100
第18回宮崎IBD講演会 10月25日㈬ 18：50～20：30 MRT-micc	**IBD診療におけるアドヒアランスの重要性** **今後期待される新薬** 杏林大学医学部第三内科学教授　久松　理一	53(0.5) 54(0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※杏林製薬㈱ ☎0985-27-3301
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 10月25日㈬ 19：00～20：30 ホテルベルフォート日向	**肺高血圧症診療の現状** 宮崎大学医学部内科学講座 循環体液制御学分野助教　鬼塚　久充	43(0.5) 45(0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 日本新薬㈱

名称・日時・場所	演題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第45回宮崎大腸肛門疾患研究会 10月26日㈭ 19：00～20：30 KITEN	**当科における大腸癌治療の現況** **－鏡視下手術，化学療法を中心に－** 潤和会記念病院長　岩村　威志	2 (0.5) 54 (0.5) 大腸	◇主催 宮崎大腸肛門疾患研究会 ◇共催 ※大鵬薬品工業㈱ ☎0985-27-4527 ◇後援 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科医会10月学術講演会 10月26日㈭ 19：10～20：10 ガーデンテラス宮崎	**華麗なる加齢のためにエクオールができること** **－エクオールにまつわる誤解と真実－** 東京歯科大学市川総合病院産婦人科教授 髙松　潔	1 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
平成29年度第２回日本東洋医学会福岡・宮崎合同県部会宮崎中継 10月28日㈯ 15：00～18：00 宮崎大学医学部総合教育研究棟 参加費：3,000円	**がんと漢方　あきらめない　追い詰めない　共に生きる** 桜十字福岡病院漢方内科　木村　豪雄	81 (0.5)	◇主催 ※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会 ☎0985-85-0988 ◇共催 日本東洋医学会九州支部福岡県部会 宮崎県医師会東洋医会
	なんたって漢方は女性の味方！乳癌治療のベストパートナー 飯塚病院漢方診療科　矢野　博美	83 (0.5)	
	緩和ケアで漢方薬を活かすコツ 土倉外科胃腸器科医院副院長　土倉　潤一郎	81 (0.5)	
	がん診療における漢方薬の新しい使い方 新水前寺クリニック院長　有馬　俊裕	83 (0.5)	

名称・日時・場所	演題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針（第１期）に係る説明会（TV会議） 10月30日㈪ 19：00～20：30 県医師会館（TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵）	**糖尿病腎症の発症・進展の防止に向けて** 平和台病院名誉院長　中村　周治	11 (0.5) 73 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
延岡医学会（第17回宮崎県北耳鼻咽喉科臨床会） 11月２日㈭ 19：00～20：40 ホテルメリージュ延岡	**入院加療を要した急性感染性疾患，２年間の統計** 宮崎県立延岡病院耳鼻咽喉科　直野　秀和 **他**	28 (0.5)	◇主催 宮崎県北耳鼻咽喉科臨床会 ◇共催 延岡医学会 日本耳鼻咽喉科学会宮崎県地方会 大正富山医薬品㈱ （連絡先） 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	喘息・COPD治療の進歩 鹿児島大学医歯学総合研究科 呼吸器内科学分野教授　井上　博雅	45 (0.5) 46 (0.5)	
宮崎県整形外科医会研修会 11月４日㈯ 17：00～18：00 県医師会館	**法医学と医療倫理** 宮崎大学医学部社会医学講座 法医学分野教授　湯川　修弘	2 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
“皮膚の日”講演会 11月５日㈰ 14：00～15：30 宮日会館	**いろいろな抗酸菌によるいろいろな病気** **－結核，非結核性抗酸菌症からハンセン病(癩病)まで－** 青木皮膚科　出盛　允啓	9 (1.0) 11 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇後援 日本臨床皮膚科医会 宮崎県医師会 (連絡先) 青木皮膚科 ☎0985-23-2011
宮崎市感染症講演会 11月７日㈫ 19：00～21：00 宮崎市民プラザ	**結核の診断と治療** **－専門医療機関と一般医療機関の連携について－(仮)** 国立病院機構宮崎東病院呼吸器内科部長 伊井　敏彦	8 (0.5)	◇主催 宮崎市 (連絡先) 宮崎市保健所 ☎0985-29-5286
	AMR対策の推進に関する我が国の今日的課題：臨床医の視点から 佐賀大学医学部附属病院感染制御部長 青木　洋介	8 (1.0)	
平成29年度宮崎県医師会自殺対策うつ病研修会（TV会議） 11月16日㈭ 19：00～21：00 県医師会館(TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵)	**災害とメンタルヘルス** **－自死を防ぐために災害対応急性期からの取り組みを－** 宮崎大学地域精神看護学講座 精神看護学分野教授　原田　奈穂子	69 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	女性の不安障害とうつ病－診断のコツと落とし穴－ 国際医療福祉大学三田病院精神科 国際医療福祉大学教授　平島　奈津子	4 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
宮崎県医師会産業医研修会 11月18日㈯ 14：30～18：30 県医師会館	**産業医業務の実際－法定業務を中心に－** 旭化成メディカルMT株式会社産業医 國本　政瑞沖 基礎研修の後期研修会：２単位 生涯研修の更新研修会：２単位	0 (0.5) 1 (0.5) 4 (0.5) 6 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	最近の産業保健の動向 日本医師会常任理事　松本　吉郎 基礎研修の後期研修会：２単位 生涯研修の専門研修会：２単位	0 (0.5) 1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5)	
第25回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 11月18日㈯ 15：25～19：00 シーガイアコンベンションセンター 参加費：1,000円	**人はなぜ腰が曲がり，痛くなるのか** **－その原因と対策－** 東北医科薬科大学医学部整形外科学教室教授 小澤　浩司	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬㈱ ☎0985-20-8118
	骨・軟部腫瘍治療の最前線 福井大学医学部整形外科学教室教授　松峯　昭彦	69 (0.5) 73 (0.5)	
	リウマチ性頸椎疾患の診断と治療 大阪医科大学生体管理再建医学講座 整形外科学教室教授　根尾　昌志	62 (0.5) 63 (0.5)	

名称・日時・場所	演題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業医研修会 11月21日㈫ 19：00～21：00 延岡市医師会病院	**職場における糖尿病対策** 産業保健相談員 都城市郡医師会病院副院長　中津留　邦展 生涯研修の専門研修会：２単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会・第52回宮崎県北地区整形外科医会学術講演会 11月22日㈬ 19：00～21：00 ホテルメリージュ延岡	**脳卒中リハビリテーションの理論と実際** 鹿児島大学医歯学総合研究所 リハビリテーション医学助教　大濱　倫太郎 **側弯症の基礎と臨床** **－骨粗鬆症を合併した成人脊椎変形も含めて－** 久留米大学医学部整形外科学講師　井上　英豪	19 (0.5) 78 (0.5) 59 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 宮崎県北地区整形外科医会 ◇共催 延岡医学会 第一三共㈱ ◇後援 延岡内科医会 （連絡先） 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第11回日本東洋医学会九州地区専門医委員会教育講演会宮崎中継 11月23日㈭ 13：00～16：30 宮崎大学医学部附属病院 参加費：3,000円	**生理活性ペプチド解析に基づく漢方薬の適正使用** 大分大学医学部附属病院薬剤部副部長 佐藤　雄己 **高齢者疾患と漢方** 富山大学和漢医薬総合研究所 漢方診断学分野教授　柴原　直利 **ガイダンス** 九州大学医学研究院地域医療ユニット准教授 貝沼　茂三郎	83 (1.0) 15 (0.5) 73 (1.0) 83 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 ※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会 ☎0985-85-0988 ◇共催 日本東洋医学会九州支部福岡県部会 宮崎県医師会東洋医会

名称・日時・場所	演題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第11回はまゆう整形外科セミナー 11月25日(土) 17：30～18：30 宮崎観光ホテル	**下肢のスポーツ障害** 藤元総合病院整形外科診療科部長　園田　典生	61 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
Insomnia Forum in Miyazaki **－プライマリーケア医の不眠症治療を考える－** 11月29日(水) 19：00～20：40 MRT-micc	**睡眠障害と夜間頻尿(仮)** 村岡泌尿器科内科院長　村岡　敬介	67 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※MSD㈱ ☎0985-28-9496
	プライマリーケア医が出会う精神疾患の“処方箋” **－不眠・不安・うつ－(仮)** 宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野教授　石田　康	20 (0.5) 70 (0.5)	
平成29年度第１回母体保護法指定医師研修会 12月16日(土) 15：00～18：30 県医師会館	**医療安全・救急処置に関するもの** 宮崎県産婦人科医会常任理事　松　敬文	7 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118
	母体保護法の趣旨と適切な運用 宮崎県産婦人科医会副会長　嶋本　富博	6 (1.0)	
	生命倫理に関するもの 宮崎県産婦人科医会副会長　肥後　貴史	2 (1.0)	
第75回宮崎整形外科懇話会 12月16日(土) 18：00～19：00 県医師会館 参加費：1,000円	**日常診療に紛れ込む上肢先天異常あれこれ** 大阪発達総合療育センター 南大阪小児リハビリテーション病院長 川端　秀彦	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品㈱ (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

お知らせ

診療メモ

人工聴覚器医療の現況と宮崎大学医学部附属病院難聴支援センターの役割

宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室　教授　東野哲也（とうのてつや）

1．人工内耳について

我が国に多チャンネル人工内耳が導入されて既に30年以上経過した。1994年にコクレア社(オーストラリア)，2000年にアドバンスト・バイオニクス社(米国)，2006年にメドエル社(オーストリア)が参入して，３社の人工内耳が保険診療として選択可能な体制となっている。各社とも数年ごとに機器の高性能化や小型化が進められてきており，近年の人工内耳による聞き取り能力の向上は目覚ましいものがある。手術によって埋め込む体内部は電極と受信機からなり，マイクロフォンとサウンドプロセッサーは体外部として，耳介の後方にマグネットで装着される。電池の寿命やマイクロフォン感度の問題で全埋込み型人工内耳の実用化には至っていないが，ペースメーカーのような定期的な埋め替え手術は不要で，最初に埋め込まれた電極で体外部のバージョンアップが享受できる利点がある。

当科で人工内耳医療を開始した1991年当時は言語習得後聾(後天性の原因で両耳とも補聴器が全く役に立たない成人難聴者)患者に限定されていたが，1994年の保険収載後，1998年，2006年および2014年と適応基準の改定が漸次進められてきた。現在では手術年齢が満１歳(体重８kg)まで拡大され，多くの先天聾児が普通小学校にintegration可能になりつつある。言語体系が既にできあがった後の成人例(言語習得後聾者)への聴覚リハビリテーションとは異なり，先天聾小児には「音知覚」の概念そのものがないため，人工内耳からの刺激で日本語の言語力を習得させる「聴能訓練」が必要となる。当然のことながら言語習得にはできるだけ早期の言語刺激が不可欠で，１～２歳代で人工内耳による聴能訓練を開始することで，就学時までに年齢相当の言語力を身につけることができる。また，学校教育現場においては両耳の聴覚活用が子どもの学習に重要であるとして欧米では早くから両側人工内耳が主流となってきたが，ようやく我が国でもその動きが加速しつつある。

また，近年の電極材質と手術手技の向上により，聴力を保存した人工内耳手術が可能となってきた。我が国では2014年に人工内耳と補聴器が融合した「残存聴力活用型人工内耳」が保険収載され，成人，小児ともに臨床使用が可能となった。本システムは従来の人工内耳の電気刺激に加えて音響刺激機能も兼ね備えたもので，低音域に残存聴力があるがためにこれまで人工内耳の適応にならなかった感音難聴患者への適応が拡がったことになる。低音域からの音響情報が加わることにより電気刺激だけからの情報より聴取成績が優れ，騒音下の聞き取りや音楽聴取の向上に寄与することが，我々の多施設共同研究結果からも確認されている。

2．骨導インプラントと人工中耳について

感音難聴に対する人工内耳の適応拡大が進む中，伝音難聴や混合性難聴（感音難聴と伝音難聴が混合した難聴）に対する人工聴覚器の開発も着実に進められている。2013年に骨導インプラントBaha（コクレア社）が保険収載され，今年になって人工中耳VSB：Vibrant Sound Bridge（メドエル社）の保険診療が開始された。宮崎大学耳鼻咽喉科は開院当初より耳科手術に積極的に取り組んでおり，あらゆる伝音病態に対する聴力改善手術に対応できる体制をとってきたが，それでも先天性外耳道閉鎖症や高度の中耳奇形，難治性中耳炎や術後状態など手術による機能改善に限界がある中耳病態が存在することも事実である。また，補聴器装用者のなかには，外耳道の皮膚が弱くどうしても長時間の装用に耐えられない例もあり，このような患者も骨導インプラントや人工中耳の対象となる。いずれにしてもこれらの人工聴覚器は適切な耳科手術と補聴器適合を行った上で選択すべき医療技術であり，その適応判定を担う耳鼻咽喉科専門医の役割が重要となる。日本耳鼻咽喉科学会では「補聴器相談医」という制度を作って，認定補聴器販売店との連携や人工聴覚器を用いた聴覚管理体制の強化を図っている。

3．宮崎大学医学部附属病院難聴支援センター
について

このように人工聴覚器医療が発達した現在，難聴者に対する多彩な聴覚管理を耳鼻咽喉科医のみで担うのは困難な時代となっている。宮崎大学医学部附属病院では難聴支援センターという病院部門を開設し，５名の常勤言語聴覚士が新生児の難聴診断から小児難聴児への療育，高齢者に対する補聴器適合など幅広い年齢層に対する聴覚管理を実践している。現在，宮崎県では県内出生児の９割以上が産院での新生児聴覚スクリーニングを受ける体制ができており，そこで要再検と判定された全ての児について当センター内の新生児聴覚スクリーニング部門に一報が入る。これに基づいてセンターでは一次精密検査の日程調節から診断確定のための二次精密検査，補聴器装用による聴覚ハビリテーションへのロードマップを宮崎県と連携して展開している。また，当センターでは本事業に関わる聴覚支援学校，発達支援センター，市町村保健師ならびに補聴器販売店などへの定期的な教育活動を行いながら，県内で出生する全ての難聴児に対する診断，治療，療育がより充実したものになるよう努力している。本事業にご協力いただいている産婦人科医会，小児科医会，宮崎県健康づくり協会ならびに宮崎県健康増進課に謝意を表したい。

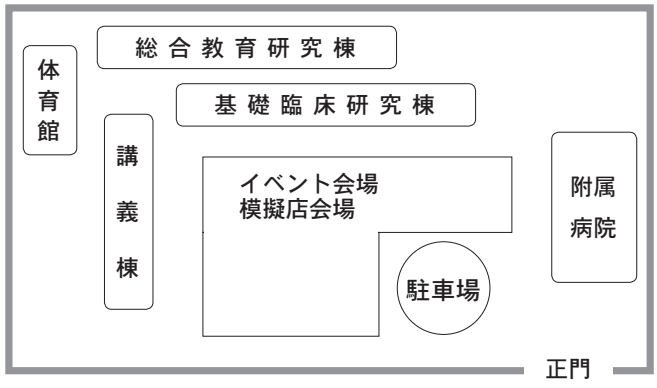
宮大医学部学生のページ

〔宮崎大学学園祭〕第13回清花祭～清花爛漫～ 11月18日(土)・19日(日)開催

＜清武キャンパスのイベントを一部ご紹介します＞
雨天の場合，イベント企画は全て体育館ステージで行われます。

イベント名（場　所）	時　間	内　容
11月18日（土）		
ミスキャン（屋外イベントステージ）	10：30～12：30	様々なゲームを勝ち抜いた清武キャンパスNO. 1美女を決めるコンテストです。
アカペラ（体育館）	13：00～13：30	調和のとれた歌声を披露します。
管打楽器（体育館）	13：30～14：00	学生による心に響くオーケストラ演奏です。
室内楽（体育館）	14：00～14：20	美しい音で魅了する演奏です。
すずかけ太鼓（体育館）	14：20～15：00	勇壮で力強く，心震える太鼓の演奏です。
KIZUNA（屋外イベントステージ）	15：00～17：00	学生がチームとなりゲームに取り組み，絆を一層深めてもらう企画です。
学祭LIVE（軽音楽部部室）	15：00～17：08 18：00～21：50	軽音楽部や有志，学外の方などによるバンド演奏です。 （本年度は昼の部，夜の部の二部構成で行います。） ※昼の部はKIZUNAと同時刻となりますのでご注意ください。
11月19日（日）		
コンテスト（屋外イベントステージ）	11：00～12：30	最も美しく最も勇ましい男の子を決定するコンテストです。
子ども企画（体育館）	12：30～14：00	地域の子どもたちを招待してミニ運動会を開催します。
DOC.(医学部ダンスサークル)（屋外イベントステージ）	12：30～13：00	新設されたダンスサークルによるパフォーマンスです。 ※子ども企画と同時刻となりますので，ご注意ください。

＜清武キャンパスマップ＞



☆近年イベントステージ，および模擬店は総合教育研究棟裏の職員駐車場で行われていましたが，一昨年から場所を講義棟前の広場に移動しました。
講義棟で行われている医学展へも足を運びやすくなっています。是非合わせてお越しください。

☆模擬店の営業時間は
18日(土) 10：00～17：00
19日(日) 10：00～17：00
となっております。

◎他にも，様々な企画が用意されています。
清花祭の詳しい情報については，http://miyadaikiyoka.net をご覧ください。

医師資格証を持ちましょう

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては，会員専用ページをご覧いただくか，所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザー名，パスワードが必要ですので，県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL0985-22-5118)。

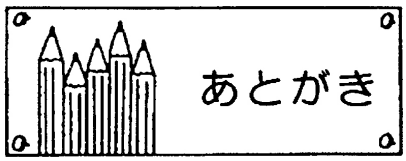
また，MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので，まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文　書　名
８月８日	・災害により被災した要介護高齢者等への対応について ・平成29年７月22日からの大雨による被災者に係る被保険者証の提示等について ・平成29年度(第68回)全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・「水害・土砂災害に係る要配慮者利用施設における避難計画点検マニュアル」等の送付について ・高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物及び高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の処分期限内の早期処理に関する周知徹底について ・平成29年７月22日からの梅雨前線に伴う大雨による災害に伴う予防接種の取扱について
８月15日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
８月16日	・「子育て世代包括支援センター業務ガイドライン」，「産前・産後サポート事業ガイドライン」及び「産後ケア事業ガイドライン」について ・平成29年度医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果および名簿の送付について
８月17日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
８月18日	・「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」の実施について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・日本医師会ACLS(二次救命処置)研修について ・平成29年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について ・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について ・高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物及び高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の処分期間内の早期処理に関する周知徹底について ・８月以降における熱中症予防対策の徹底について ・多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けた医療機能について ・平成29年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・みやざきオレンジドクターの登録について ・「医療計画について」の一部改正について ・平成29年度「防災週間」及び「津波防災の日」について ・毎月勤労統計調査全国調査及び地方調査第一種事業所の部分入替えに伴う事前調査への協力依頼について
８月25日	・平成29年医療施設静態調査，患者調査及び受療行動調査の実施通知等について ・ヨーロッパ地域における麻しん患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起について ・平成29年度医療介護提供体制改革推進交付金交付要綱等について ・ヒアリに関する対応について及びヒアリに関する広報資料について ・地域医療構想を踏まえた「公的医療機関等2025プラン」について ・第７次医療計画及び第７期介護保険事業(支援)計画における整備目標及びサービスの量の見込みに係る整合性の確保について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№129」の提供について
８月28日	・麻薬，麻薬原料植物，向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令及び麻薬及び向精神薬取締法施行令の一部を改正する政令等の施行について

送付日	文　書　名
８月28日	・再製造単回使用医療機器に係る医薬品，医療機器等の品質，有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則等の改正等について ・「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」の一部改正について
８月29日	・学校等欠席者・感染症情報収集システムの使用規程改訂と利用許諾申請について（情報提供） ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について（アスファルト等10物資とそれらを含有する製剤その他の物について） ・宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針（第１期）の策定について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について
９月１日	・都道府県におけるアレルギー疾患の医療提供体制の整備について ・脳卒中，心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の整備について ・ヒアリに関する啓発ポスターの周知・広報に関する御協力のお願い ・「『高齢運転者交通事故防止対策に関する提言』等を踏まえた高齢運転者による交通事故防止対策の更なる推進について（通達）」等の送付について（情報提供） ・平成29年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準等の一部改正について ・医療機関における外国人患者受入れ環境施設整備事業について ・平成29年度の医療法第25条第１項の規定に基づく立入検査の実施について ・避難行動要支援者向けのリーフレットの活用について ・要配慮者利用施設の管理者等に対する避難確保計画の作成及び訓練の実施の徹底について ・平成29年度救急医療業務実地修練等に係る受講者の募集について
９月５日	・医療機器及び再生医療等製品の不具合等報告の症例の公表及び活用について ・医療安全に関するワークショップの開催について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・医業等に係るウェブサイトの監視体制強化事業の開始について
９月６日	・平成29年度結核予防週間の実施について ・総務省消防庁・厚生労働省「救急の日」ポスターについて ・「病原微生物検出情報」の送付について ・特定医療費（指定難病）受給者証の更新について ・平成29年度の医療法第25条第１項の規定に基づく立入検査の実施について ・平成29年度食生活改善普及運動の実施について ・全日本病院協会「看護師特定行為研修指導者講習会実施者（タスクフォース）養成研修会」について ・平成29年度健康増進普及月間の実施について ・鳥インフルエンザＡ（H7N9）に関する情報提供について ・第７次医療計画及び第７期介護保険事業（支援）計画の策定に係る医療療養病床を有する医療機関及び介護療養型医療施設からの転換意向の把握に関する事務連絡について ・平成29年度医療介護提供体制改革推進交付金（地域医療介護総合確保基金）の介護分の内示について（第１回目） ・平成29年度訪問看護ステーション等整備費補助金について ・特定医療費（指定難病）及び小児慢性特定疾病に係る指定医及び指定医療機関の認定期間の取扱いについて

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
d	c	a，c	a	d	a，b，e	a	c	b	e	c



先日，学会で松山に行ってきました。学生時代をすごした土地なのですが，JALの宮崎−愛媛直行便が廃路となったこともあり，なかなか訪れる機会がなく，本格的に滞在するのは卒後20年ぶりでした。最近は思い出したりすることも殆どなかったのですが，飛行機から夕闇迫る街並みを見たとき，急に懐かしい気持ちが湧き上がり，様々な思い出が脳裏に蘇って来ました。初めて一人暮らしをした土地であり，また男女問わず，初めて深く人と付き合った若き日々のことが思い出され，胸が熱くなりました。学会の合間には懐かしの道後温泉に入ったり，路面電車に乗ったり，また教養時代のキャンパスや，よく行っていた食堂に立ち寄ったり，住んでいたアパートに行ってみたり，また夜な夜な仲間と獲物？を求めて徘徊した繁華街を散策したりしました。夜は旧友達と酒を飲みながら昔話に花を咲かせ，まさに「語りつくせぬ青春の日々」の思い出にひたりました。20年という月日はあっという間でした。旧友達も外見に多少の変化はあるものの根っこは変わらず，あの頃のままでした。第２のふるさととともいえる土地で元気を充填し，また頑張ろう，またいつの日か訪れようと遠い目をしながら帰りの飛行機に乗り込みました。　（稲倉）

＊　＊　＊　＊　＊

子どもたちが小さい頃からいろいろな温泉宿に泊まってきた。温泉に浸かって美味しい物を食べるという，子どもより大人が満足することに重点を置いていたのかもしれない。それからはグリーンランドやハウステンボスへ旅行した。そして今回は何と，初のUSJだった。子どもたちは大満足だった。自分も年をとってきたし，子どもたちも大きくなったので，これからはまた，大人優先の温泉旅行に戻るのだろうと思う。温泉貯金しとかなきゃ。　（山﨑）

＊　＊　＊

ある番組で，“雑誌専門の図書館　大宅壮一文庫”という紹介があり，面白そうな図書館だな，と思いつつ番組をみていました。それぞれの時代の雑誌をそのまま大切に保管しているため，相当な量があるようです。インターネット時代にいかに生き残っていくか，というテーマでしたが，振り返ってみると，自分は手に雑誌をとり１ページごとにめくって読んだり，１冊の雑誌から様々な情報を得ながら，自分なりの楽しみ方で読んでいることの方が多いと思いました。　（上山）

＊　＊　＊

今年の夏季休暇には病院見学として３つの病院を訪問しました。炎天下の中でスーツケースを引きずりながらの見学でしたが，病院ごとに施設や設備はもちろんのこと，働く人々の気質や雰囲気も全く異なっていたためとても面白かったです。ちなみに一番設備の良かった病院ではビジネスホテルのような宿泊室が病院の中に用意されていました。もちろん，設備面だけでなく，研修体制や先輩研修医の様子などいろいろな面を考慮しなくてはいけないと思います。自分にとっての理想的な研修病院が見つかればいいなと考えています。　（柴野）

＊　＊　＊

２か月に渡る長かったテスト期間も終わり，４年生は10月が約１か月の長期休暇です。スポーツの秋，読書の秋，食欲の秋。そんな言葉が満喫できるようなお休みを迎えられたらいいなと思います。

そして10月末からはいよいよ臨床実習が始まります。宮崎大学医学部附属病院の先生方・職員の方々を始め，地域医療実習などを通して様々な方にお世話になることと思います。わからないことばかりでご迷惑をおかけしますが，一生懸命学びます。どうぞよろしくお願いいたします。　（泉）

＊　＊　＊

国保の保険料滞納・未納の話題を聞くたびに，なぜ日本の医療は税方式ではないのだろうかと思っていましたが，ある本を読んで疑問が解けました。それよると日本は自由経済の国であり，その基本は自立，自助であって，社会保険方式が望ましいというものです。皆保険制度もその理念に基づいて作られたそうです。先日ある会合で，年金は税方式の方が良いのではないかという話題が出た時に，医療の制度設計が頭をよぎりました。　（佐々木）

＊　＊　＊

今月のトピックス

日州医談　**宮崎県における労災保険の現状**

宮崎県の労働災害の発生状況と労災診療費審査の現状を川野啓一郎先生に詳しく解説していただきました。労災診療指導委員会から，傷病名の記載や手術の請求，リハビリのリセットなど注意点も指摘していただいておりますので参考にしてください。

４ページ

随筆　**「蜜蜂と遠雷」～「ショパン国際ピアノコンクール」再度，北海道へ孫と旅する**

今月は随筆を２編掲載します。偶然にも二つとも旅に関した作品です。１編目はワルシャワ。結果が毎回テレビで大きく報じられるショパン国際ピアノコンクール。同じ日に同じ曲を，違う演奏者で聴くことで演奏の違いを体感できるのはコンクールならでは。機会があれば聴きに行きたいものです。２編目は北海道。孫と行く旅行。いつかそんな日が自分にも来るのでしょうか？サイモンとガーファンクルの歌を思い出しました。

６～８ページ

お知らせ　**第１回専門医共通講習会　医療倫理・感染対策**

新専門医制度では基本診療領域のすべてで専門医共通講習の取得が必要です。特に医療倫理，医療安全，感染対策は必修項目となっています。今後宮崎でも順次講習会を開催していく予定ですので，新専門医の取得・更新で必要な方はご活用ください。

77ページ

日　州　医　事　第818号（平成29年10月号）（毎月１回10日発行）
発行人　公益社団法人　宮　崎　県　医　師　会　　会長　河野　雅行
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地　TEL 0985-22-5118㈹・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/　E-mail:office@miyazaki.med.or.jp
編　集　宮崎県医師会広報委員会
委　員　長　沖田　和久・副委員長　西田　隆昭，岡本健太郎
委　　員　中村　　豪，野村　勝政，馬場　萌子，二見　旬祐
山﨑　俊輔，稲倉　琢也，上山　貴子，柴野　雅資，泉　　摩依
担当副会長　富田　雄二・担当理事　荒木　早苗，佐々木　究
事　務　局　学術広報課　立山　幸恵，牧野　　諭
印刷所　有限会社 ケイ・プロデュース●落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定　価　350円（但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）